

別表 1

考查項目別運用表

第 一 次 評 定(土木工事)		
1.施工体制	I. 施工体制一般 II. 配置技術者(現場代理人等)	別紙—1. 1(土木工事) 別紙—1. 2(土木工事)
2.施工状況	I. 施工管理 II. 工程管理 III. 安全対策 IV. 対外関係	別紙—1. 3(土木工事) 別紙—1. 4(土木工事) 別紙—1. 5(土木工事) 別紙—1. 6(共通)
3.出来形及び出来ばえ	I. 出来形 II. 品質	別紙—1. 7(土木工事) 別紙—1. 7. 1~1. 7. 3(土木工事) 別紙—1. 8(土木工事) 別紙—1. 8. 1~1. 8. 6(土木工事)
5.創意工夫	I. 創意工夫	別紙—1. 9(土木工事)
<p>【共 通】土木、公共建築、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【土木工事】土木、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【建築工事】公共建築に係る工種に適用(設備工事を含む)</p>		

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細別	a(+1.0)	b(+0.5)	c(0)	d(-5.0)	e(-10)
1.施工体制	(土木工事) I.施工体制一般  加減点	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
<p>●評価対象項目1 (該当あればd評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。……d</p> <p>●評価対象項目2 (該当あればe評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。……e</p> <p>●評価対象項目3</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。(参考※ 施工プロ33)</p> <p><input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 通常打合せ協議の対応や、緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上……………a</p> <p>評価値が80%以上90%未満……b</p> <p>評価値が80%未満……………c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>						

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細別	a(+3.0)	b(+1.5)	c(0)	d(-5.0)	e(-10)	
1.施工体制	(土木工事)  II. 配置技術者 (現場代理人等)  加減点	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<p>●評価対象項目1 (該当あればd評価)  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。……………d</p> <p>●評価対象項目2 (該当あればe評価)  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。……e</p> <p>●評価対象項目3</p> <p>【全体を評価する項目】  <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。  <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している(参考※施工プロ20.21)</p> <p>【現場代理人を評価する項目】  <input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。  <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。  <input type="checkbox"/> 監督職員への報告を適時及び的確に行っている。(参考※ 施工プロ19)</p> <p>【監理(主任)技術者を評価する項目】  <input type="checkbox"/> 共通仕様書及び諸基準に基づき書類を適切に作成し、整理している。ただし、情報共有システム利用対象工事は事前協議による作成書類以外の書類を除く。  <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。  <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。  <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。  <input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。(参考※ 施工プロ24.25.27)  <input type="checkbox"/> その他  理由:</p> <p>●判断基準  評価値が90%以上……………a  評価値が80%以上90%未満……………b  評価値が80%未満……………c</p>					
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </td> </tr> </table>					<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>
<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>							

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	細 別	a(+4.0)	b(+2.0)	c(0)	d(-5.0)	e(-10)
2. 施工状況	(土木工事)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	I. 施工管理	<p>●評価対象項目1(該当あればd 評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。……………d</p> <p>●評価対象項目2(該当あればe 評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。……e</p> <p>●評価対象項目3</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。(参考※ 施工プロ36)</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。(参考※ 施工プロ32)</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。</p> <p><input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。(参考※ 施工プロ39)</p> <p><input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を、不足無く整理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。(参考※ 施工プロ47)</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p>				
	加減点					
		<p>■判断基準</p> <p>評価値が90%以上……………a</p> <p>評価値が80%以上90%未満………b</p> <p>評価値が80%未満……………c</p>				
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細別	a(+4.0)	b(+2.0)	c(0)	d(-5.0)	e(-10)
2. 施工状況	(土木工事) II. 工程管理  加減点	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>●評価対象項目1(該当あればd評価)  <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。……………d</p> <p>●評価対象項目2(該当あればe評価)  <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。……e</p> <p>●評価対象項目3  <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。  <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。  <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。(参考※ 施工プロ48)  <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。  <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。  <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。  <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。  <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。(参考※ 施工プロ50)  <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。  <input type="checkbox"/> その他  理由:</p> <p>●判断基準  評価値が90%以上……………a  評価値が80%以上90%未満……………b  評価値が80%未満……………c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。  ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p> </div>				

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細別	a(+5.0)	b(+2.5)	c(0)	d(-5.0)	e(-10)
2.施工状況	(土木工事) III.安全対策 加減点	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>●評価対象項目1(該当あればd評価)  <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。……………d</p> <p>●評価対象項目2(該当あればe評価)  <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。……e</p> <p>●評価対象項目3  <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。  <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。(参考※ 施工プロ51)  <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。  <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。  <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。  <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。(参考※ 施工プロ56)  <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。(参考※ 施工プロ59,60)  <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。(参考※ 施工プロ61)  <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。  <input type="checkbox"/> その他  理由:</p> <p>●判断基準  評価値が90%以上……………a  評価値が80%以上90%未満……………b  評価値が80%未満……………c</p>				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。  ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する  ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p> </div>				

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	細別	a(+2.0)	b(+1.0)	c(0)	d(-2.5)	e(-5.0)
2. 施工状況	(土木工事)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	IV. 対外関係	<p>●評価対象項目1(該当あればd評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。……………d</p>				
	加減点	<p>●評価対象項目2(該当あればe評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。……e</p>				
		<p>●評価対象項目3</p> <p><input type="checkbox"/> 「施エプロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。(参考※ 施エプロ63)</p> <p><input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。(参考※ 施エプロ65)</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p>				
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上……………a</p> <p>評価値が80%以上90%未満……b</p> <p>評価値が80%未満……………c</p>				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p> </div>				

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	a(+4.0)	b(+2.0)	c(0)	d(-2.5)	e(-5.0)
	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ (土木工事) I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った
<p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木・農林等工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div>					



考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	工種	a(+4.0)	b(+2.0)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  I. 出来形	(土木工事) 機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、管理職員と協議の上で管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満...b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>	<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	工種	a(+4.0)	b(+2.0)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  I. 出来形	(土木工事) 電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議のうえで管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満...b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>	<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	工種	a(+4.0)	b(+2.0)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  I. 出来形  (土木工事とともに 発注された建築 工事)	建築工事 電気設備工事 機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製品・機器類の出来形が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の出来形が、施工図等により確認でき、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法を工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満... b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(0)	d(-2.5)	e(-5.0)
	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ (土木工事) II. 品質	<input type="checkbox"/> (選択不可) 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> (選択不可) 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
※ ばらつきの判断は別紙7参照。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。</p> <p>③ 品質管理とは、「土木・農林等の工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で品質管理を行うものである。</p> <p>④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div>					

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	工種	a(+5.0)	b(+2.5)	c(0)	d(-2.5)	e(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	(土木工事) 維持・修繕工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
		<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p>●判断基準</p> <p>※該当項目が6項目以上・・・a</p> <p>※該当項目が4項目以上・・・b</p> <p>※該当項目が3項目以上・・・c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。</p>

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	工 種	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)		
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) 機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)の内容が設計図書の仕様を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、承諾図書の通りに確保している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書の通り配置し、操作性にすぐれている。</li>   <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul>			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満...b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	工 種	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品 質	(土木工事) 電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足し、成績書にまとめられている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能および性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新を含む)の場合は、修正または更新)している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替作業が容易にできるよう工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満...b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	工種	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質  (土木工事ととも に発注され た建築工事)	(土木工事)  建築工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の品質が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、 監督職員が文書による 改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき 監督職員が改造請求を 行った。
		●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満... b 評価値が80%未満..... c		評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。



考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	工 種	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質  (土木工事ととも に発注され た建築工事)	(土木工事)  電気設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a                      評価値が80%以上90%未満... b                      評価値が80%未満..... c</p> </div>					
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の口のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>					

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	工種	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質  (土木工事ととも に発注され た建築工事)	(土木工事)  機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
		●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満... b 評価値が80%未満..... c			評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細 別	技術力キーワード一覧表	
5. 創意工夫	(土木工事) I. 創意工夫 評価項目数	<p>【準備・後片付け関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p>【施工】</p> <p><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮棧橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。(全面・部分) (R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p> <p><input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。</p> <p>【品質】</p> <p><input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫。</p>	<p>【安全衛生】</p> <p><input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。</p> <p>【その他】</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 週休2日の確保が図られている。 (R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p> <p><input type="checkbox"/> 若手や女性技術者の登用により担い手確保が図られている。 (R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p>
	記述評価 (レマークを付けた評価 内容を詳細記述)	評点: _____点	【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 評価は最大7点の加点評価とする。

※3. 該当キーワード数の数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。

※4. キーワード項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。

別表 2

審査項目別運用表

第 二 次 評 定(土木工事)		
2.施工状況	II. 工程管理 III. 安全対策	別紙—2. 1(土木工事) 別紙—2. 1(土木工事)
4.工事特性	I. 施工条件等への対応	別紙—2. 2(土木工事)
6.社会性等	I. 地域への貢献	別紙—2. 3(土木工事)
7.法令遵守等		別紙—2. 4(共通)
<p>【共 通】土木、公共建築、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【土木工事】土木、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【建築工事】公共建築に係る工種に適用(設備工事を含む)</p>		

考查項目別運用表

(第二次評定者)

考查項目	細別	a(+2.0)	b(+1.0)	c(0)	d(-7.5)	e(-15)
2.施工状況 (土木工事)	II.工程管理	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
	加減点	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p> <p>(標準)</p> <p>該当項目数が4以上.....a                  該当項目数が2以上.....b                  該当項目数が1以下.....c                  工程管理がやや不備である(工程管理に対し、文書指導を行った。).....d                  工程管理が不備である(工程管理を怠ったことにより工期延期した。).....e</p>				
	III.安全対策	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
	加減点	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p> <p>(標準)</p> <p>該当項目数が5以上.....a                  該当項目数が2以上.....b                  該当項目数が1以下.....c                  安全管理がやや劣っている(安全対策に対し、文書指導を行った。).....d                  安全管理が劣っている(安全対策を怠ったことにより工期延期した。).....e</p>				

## 考 査 項 目 別 運 用 表

考查項目	細 別	対 応 事 項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4.工事特性 (土木工事)	I. 施工条件等への対応	<p>Ⅰ 構造物の特殊性への対応</p> <input type="checkbox"/> 1.対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2.対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3.その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば4点の加点とする。	<p>(1.について)</p> <input type="checkbox"/> 切土の土工量:20万m <sup>3</sup> 以上、盛土の土工量:15万m <sup>3</sup> 以上 <input type="checkbox"/> 護岸・築堤の平均高さ:10m以上 <input type="checkbox"/> トンネル(フルド)の直径:8m以上 <input type="checkbox"/> ダム用水門の設計水深:25m以上 <input type="checkbox"/> 樋門又は樋管の内空断面積:15m <sup>2</sup> 以上 <input type="checkbox"/> 排水機場の吐出管径:2,000mm以上 <input type="checkbox"/> 堰又は水門の最大径間長:25m以上、堰又は水門の径間数:3径間以上、堰又は水門の扉体面積:50m <sup>2</sup> /門以上 <input type="checkbox"/> トンネル(開削工法)の開削深さ:20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積:100m <sup>2</sup> 以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積:300m <sup>2</sup> 以上 <input type="checkbox"/> 港湾防波堤、岸壁、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深:10m以上 <input type="checkbox"/> 地滑り防止工:幅100m以上かつ法長150m以上 <input type="checkbox"/> 浚渫工の浚渫土量:100万m <sup>3</sup> 以上 <input type="checkbox"/> 流路工の計画高水流量:500m <sup>3</sup> /s以上 <input type="checkbox"/> 砂防ダムの堤高:15m以上、ダムの堤高:150m以上 <input type="checkbox"/> 転流トンネルの流下能力:400m <sup>3</sup> /s以上 <input type="checkbox"/> 橋梁下部工の高さ:30m以上、橋梁上部工の最大支間長:100m以上
	加減点	<p>Ⅱ 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <input type="checkbox"/> 4.地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5.周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6.周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7.現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8.事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 9.施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10.その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば6点の加点とする。	<p>(2.について)</p> <input type="checkbox"/> 砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の道路トンネルの拡幅工事。
		<p>Ⅲ 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <input type="checkbox"/> 11.特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12.雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13.急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14.動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 15.その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば4点の加点とする。	<p>(3.について)</p> <input type="checkbox"/> その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 <input type="checkbox"/> その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 <input type="checkbox"/> 地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		<p>Ⅳ 長期工事における安全確保への対応</p> <input type="checkbox"/> 16.12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) 理由: ※上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば6点の加点とする。	<p>(4.について)</p> <input type="checkbox"/> 供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 <input type="checkbox"/> 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 <input type="checkbox"/> 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。
	評 価	評 点: _____ 点	<p>(5.について)</p> <input type="checkbox"/> ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 <input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策などの制約が多い工事。 <input type="checkbox"/> そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。
			<p>(6.について)</p> <input type="checkbox"/> 市街地での夜間工事。 <input type="checkbox"/> DID地区での工事。
			<p>(7.について)</p> <input type="checkbox"/> 日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 <input type="checkbox"/> 供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。
			<p>(8.について)</p> <input type="checkbox"/> 事故や災害発生後の緊急的な対応が必要な工事で、24時間対応の施工等により早期の完成が求められる工事
			<p>(9.について)</p> <input type="checkbox"/> 作業現場が広範囲に分布している工事。
			<p>(10.について)</p> <input type="checkbox"/> 施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 <input type="checkbox"/> その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
			<p>(11.について)</p> <input type="checkbox"/> 河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウエルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 <input type="checkbox"/> 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎等に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 <input type="checkbox"/> 施工不可能日が多ことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要性が生じた工事。
			<p>(12.について)</p> <input type="checkbox"/> 港湾、海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 <input type="checkbox"/> 潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。
			<p>(13.について)</p> <input type="checkbox"/> 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 <input type="checkbox"/> 斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 <input type="checkbox"/> 土石流危険渓流に指定された区域内における工事
			<p>(14.について)</p> <input type="checkbox"/> イヌワン等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事
			<p>(15.について)</p> <input type="checkbox"/> その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 <input type="checkbox"/> その他、災害等における臨機応変の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。  
※2. 第一次評定者が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。  
※3. 評価にあたっては、第一次評定者等の意見も参考に評価する。

考査項目別運用表

( 第二次評定者 )

考査項目	細別	a(+10)	a'(+7.5)	b(+5.0)	b'(+2.5)	c(0)
6.社会性等 (土木工事)	I.地域への貢献等  加減点	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cよりすぐれている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない
<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮、生物保護等に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に応報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p> <p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。</p> <p>(標準)</p> <p>該当項目数が5以上 ……a</p> <p>該当項目数が4 ……a'</p> <p>該当項目数が3 ……b</p> <p>該当項目数が2 ……b'</p> <p>該当項目数が1以下 ……c</p>						

考查項目別運用表

(第二次評定者)

考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表																							
7. 法令遵守等 (共通)  加減点	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="376 288 1473 320">措置内容</th> <th data-bbox="1473 288 1814 320">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="376 320 1473 352">□ 項目該当なし</td> <td data-bbox="1473 320 1814 352">0 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 352 1473 384">□ 指名停止3ヶ月以上</td> <td data-bbox="1473 352 1814 384">-20 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 384 1473 416">□ 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td data-bbox="1473 384 1814 416">-15 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 416 1473 448">□ 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td data-bbox="1473 416 1814 448">-13 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 448 1473 480">□ 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td data-bbox="1473 448 1814 480">-10 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 480 1473 512">□ 文書注意</td> <td data-bbox="1473 480 1814 512">- 8 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 512 1473 544">□ 口頭注意</td> <td data-bbox="1473 512 1814 544">- 5 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 544 1473 576">□ 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該工事に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(もらい事故や交通事故は含まない。)</td> <td data-bbox="1473 544 1814 576">- 3 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 576 1473 608">□ 総合評価落札方式において、入札時に加点評価された項目が達成されず、契約金額の減額または損害賠償請求を行った。</td> <td data-bbox="1473 576 1814 608">-10 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 608 1473 675">□ その他:</td> <td data-bbox="1473 608 1814 675">点</td> </tr> </tbody> </table>	措置内容	点数	□ 項目該当なし	0 点	□ 指名停止3ヶ月以上	-20 点	□ 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15 点	□ 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13 点	□ 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10 点	□ 文書注意	- 8 点	□ 口頭注意	- 5 点	□ 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該工事に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(もらい事故や交通事故は含まない。)	- 3 点	□ 総合評価落札方式において、入札時に加点評価された項目が達成されず、契約金額の減額または損害賠償請求を行った。	-10 点	□ その他:	点	
措置内容	点数																							
□ 項目該当なし	0 点																							
□ 指名停止3ヶ月以上	-20 点																							
□ 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15 点																							
□ 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13 点																							
□ 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10 点																							
□ 文書注意	- 8 点																							
□ 口頭注意	- 5 点																							
□ 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該工事に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(もらい事故や交通事故は含まない。)	- 3 点																							
□ 総合評価落札方式において、入札時に加点評価された項目が達成されず、契約金額の減額または損害賠償請求を行った。	-10 点																							
□ その他:	点																							
<p>①本考查項目(7.法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。                      ②「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。                      ③「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p>																								
<p><b>【上記で評価する場合の適応事例】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</li> <li>2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li> <li>3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</li> <li>6.一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</li> <li>7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</li> <li>8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> <li>10.下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</li> <li>11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。</li> <li>12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>13.下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記載されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>14.安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</li> <li>15.福井県建設工事元請下請関係適正化指導要綱の規定に違反し、適正な元請下請関係の確保に支障がある事実が判明した。</li> <li>16.特記事項：(暫定評価の明示及び理由等記入)</li> </ol>																								



別表 3

考査項目別運用表

第三次評定(土木工事)		
2. 施工状況	I. 施工管理	別紙—3. 1(土木工事)
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	別紙—3. 2(土木工事) 別紙—3. 2. 1～3. 2. 3(土木工事)
	II. 品質	別紙—3. 3～3. 54(土木工事)
	III. 出来ばえ	別紙—3. 55～3. 62(土木工事)
<p>【共通】 土木、公共建築、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【土木工事】 土木、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【建築工事】 公共建築に係る工種に適用(設備工事を含む)</p>		

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	細別	a(+5.0)	b(+2.5)	c(0)	d(-7.5)	e(-15)	
2.施工状況	(土木工事)	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
	I.施工管理	<p>●評価対象項目1(該当あればd評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。……d</p> <p>●評価対象項目2(該当あればe評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。……e</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 約款第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。(参考※ 施工プロ31)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっていることが確認できる。(参考※ 施工プロ33,36)</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。(参考※ 施工プロ34)</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。(参考※ 施工プロ33)</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。(参考※ 施工プロ37)</p> <p><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。(参考※ 施工プロ41)</p> <p><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。(参考※ 施工プロ45,46)</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。(参考※ 施工プロ10,13)</p> <p><input type="checkbox"/> 下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。(参考※ 施工プロ3)</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。ただし、情報共有システム利用対象工事は事前協議による作成書類以外の書類を除く。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p>					
	加減点	<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上……………a</p> <p>評価値が80%以上90%未満……b</p> <p>評価値が80%未満……………c</p>					
		<table border="1"> <tr> <td> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p> </td> </tr> </table>					<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p>
<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。</p>							

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	a(+10)	a'(+7.5)	b(+5.0)	b'(+2.5)	c(0)	d(-10)	e(-20)
	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ (土木工事) I. 出来形  加減点	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。(R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真(監督職員等が臨場した箇所は除く)で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>評価方法</p> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木・農林等の工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div> <p>※ ばらつきの判断は別紙-7参照。</p>							

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+10)	a'(+7.5)	b(+5)	b'(+2.5)	c(±0)	d(-10)	e(-20)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  I. 出来形	(土木工事) 機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が、出来形管理図により確認できる。(R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真(監督職員等が臨場した箇所は除く)で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状を図表等に記録していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満..... b</p> <p>評価値が60%以上70%未満..... b'</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>					<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		<p>評価方法</p> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木・農林等の工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p>							

※1. 出来形の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+10)	a' (+7.5)	b(+5)	b' (+2.5)	c(±0)	d(-10)	e(-20)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  I.出来形	(土木工事) 電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理、出来形管理図により確認できる。(R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真(監督職員等が臨場した箇所は除く)で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議のうえで管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満..... b</p> <p>評価値が60%以上70%未満..... b'</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>				<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>	
		<p>評価方法</p> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木・農林等の工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p>							

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+10)	a'(+7.5)	b(+5)	b'(+2.5)	c(±0)	d(-10)	e(-20)
3. 出来形 及び 出来ばえ I. 出来形  (土木工事とともに 発注された建 築工事)	(土木工事)  建築工事  電気設備工事  機械設備工事    加減点	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・機材の出来形が、承諾図等により確認出来、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の出来形が、施工図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法が工夫されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真(監督職員等が臨場した箇所は除く)、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満... a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満... b</p> <p>評価値が60%以上70%未満... b'</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>					<p><input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 出来形が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>

※1. 出来形の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工種	a(+15)	a'( +12)	b(+7.5)	b'( +4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																															
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・道路改良・農道 ・林道・交通安全 ・歩道新設 ・災害防除工事 1) 土工事  2) コンクリート工事  3) 法面工事  4) 二次製品工事  5) 路盤・表層・区画 線工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; 【関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙7参照</p> <p>● 評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ □ 雨水等による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</li> <li>□ □ 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。</li> <li>□ □ 置き換えのための掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</li> <li>□ □ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li>□ □ 現場発生土等を用いる場合、その中で良質な材料で施工していることが確認できる。</li> <li>□ □ コンクリートの配合試験及び、試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</li> <li>□ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li>□ □ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリートを含む)</li> <li>□ □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li>□ □ 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。</li> <li>□ □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>□ □ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>□ □ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)</li> <li>□ □ 金網の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。</li> <li>□ □ 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li>□ □ 土羽工の土質が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li>□ □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。</li> <li>□ □ アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</li> <li>□ □ 枠内に空隙が無いことが確認できる。</li> <li>□ □ 層間にはく離が無いことが確認できる。</li> <li>□ □ 施工基面が平滑に仕上げられている。</li> <li>□ □ 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</li> <li>□ □ 路盤材料の規格値を満足している。(修正CBR等)</li> <li>□ □ 一層の仕上り厚を施工計画書に記載し、仕上り厚(路体)を30cm以下とし、各層毎の締め固めが資料により確認できる。</li> <li>□ □ 一層の仕上り厚を施工計画書に記載し、仕上り厚(路床)を20cm以下とし、各層毎の締め固めが資料により確認できる。</li> <li>□ □ 路床及び路盤のブルーローリングを行っていることが確認できる。</li> <li>□ □ 路床、又は下層路盤とも適切な含水比の状態での締め固め作業が確認できる。(現場密度試験の記録等)</li> <li>□ □ プラント出荷時・現場到着時・舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</li> <li>□ □ 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>□ □ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</li> <li>□ □ 塗料の空任管理について写真等で確実に空であることが確認できる。</li> </ul>						<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																					
		<p>● 判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																					

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 現場における4週コンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋重要構造物の場合、ひび割れ調査が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由:																																				
		<p>評価方法</p> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				



考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工種	a(+15)	a'( +12)	b(+7.5)	b'( +4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																									
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・切土、盛土 、築堤工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐根除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 規定断面仕上にあたり浮石、木の根が残らないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場発生土等を用いる場合、その中で良質な材料で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         評価方法                          ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                          ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                          ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                     </div>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																									
		●判断基準			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																													
	50%以下	80%以下	80%を超える																														
評価値	90%以上	a	a'	b																													
	75%以上90%未満	a'	b	b'																													
	60%以上75%未満	b	b'	c																													
	60%未満	b'	c	c																													
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																															

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・護岸、根固、 水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所等の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 適切なコンクリートの規格が確認できる。(強度、W/C、スランプ、空気量等) <input type="checkbox"/> 型枠・支保工の取り外し時のコンクリート強度及び養生が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:																																				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																				

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'( +12)	b(+7.5)	b'( +4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・鋼橋工事  (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>【工場製作関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。  <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。  <input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p>【架設関係】</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。  <input type="checkbox"/> 支承の据付でコンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。  <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を確認していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                  ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(土木工事) ・河川改良工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
II. 品質	1) 土工事	<input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場発生土等を用いる場合、その中で良質な材料で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。						
	2) コンクリート工事	<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
	3) 護岸工事	<input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
	4) 法面工事	<input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽工の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。						
	5) 二次製品検査	<input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。						
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     評価方法                      ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                 </div>						
		●判断基準 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>						
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。								

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・地すべり工事 (承水路工事 排水路工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 地形形状を考慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 施設の出来あがりに凹凸がなく、丁寧に仕上げている。 <input type="checkbox"/> 埋め戻しが十分締固められており、現況地形との取り付けがなじみよく施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 継目が仕様書等で示す条件により施工されている。 <input type="checkbox"/> 既設道路及び水路施設等との取り付けが、なじみよく施工がなされている。																																				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         評価方法                          ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                          ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                          ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                     </div>																																				
		●判断基準																																				
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・地すべり工事 (集水井工)	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートを確実に固定できるように掘削が入念に行われ、ライナープレート端に触れてなく、鉛直方向に正確に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートが仕様書に示す深さごとに1枚ずつ実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートの接続(ボルト締付)が仕様書に示すとおりを実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 水抜きボーリング、排水ボーリングが図面及び仕様書により正確に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 梯子、あるいは階段が丁寧に取り付けられている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・地すべり工事 (アンカー工)	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙-7参照。</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>																															
		<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法面整形が丁寧に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ラス張と地山の間に隙間がなく、丁寧に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法枠が地山形状になじんだ施工となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカー角度が正確に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 孔内のスライムが十分除去されている。</p> <p><input type="checkbox"/> グラウトが十分に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。</p>																																				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																				

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	[土木工事] ・地すべり工事 (水抜きボーリング工)	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 □□ 材料の品質規定証明書が整備されている。 □□ 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げてある。 □□ 掘進方向、角度及び長さが、図面に示されたとおり実施されていることが確認できる。 □□ ボーリングコアが綺麗(ボーリングが丁寧)に採れている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																						



考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																																
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・地すべり工事 (抑止杭工)	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 抑止杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 抑止杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ、記録が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 抑止杭の偏心管理が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 偏心量が全て管理基準値以内で施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、仕様書等に定められた事項が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 杭の継手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 杭上の埋戻しが丁寧に施工されている。</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																															
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																						
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c				
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																						

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																															
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・砂防治山工事 (堰堤工 谷止工)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 基礎地盤が確認され、丁寧に基盤面が仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削法面勾配が、正確に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締め固め等の処理を適切に実施している。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリート面が丁寧に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 排水パイプ、あるいは吸出し防止材が丁寧に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄線籠工等の詰め石が間隙の無いように実施されていることが確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																															
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     評価方法                      ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                 </div>																																					
		●判断基準																																					
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																					

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	1)路床・路盤工	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：					評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の口のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	
	2)アスファルト 舗装	<input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：						
3)コンクリート 舗装	<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：							

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・海岸工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 床掘(浚渫)にあたり、既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。 <input type="checkbox"/> 床掘(浚渫)土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工している。 <input type="checkbox"/> 床掘(浚渫)工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> 帆布・マットが損傷なく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 帆布・マットの品質証明が書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ブロック据付等において、ブロック及び既設構造物に損傷がなく、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 完成施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:																																				
		<b>●判断基準</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				

考查項目別運用表

(三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																															
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・法面工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
	1)共通	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由:					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の口のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
	評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満		a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満		b	b'	c	c																																		
60%未満		b'	c	c	c																																		
2)種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工	<input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由:																																						
3)コンクリート又はモルタル吹付工	<input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由:																																						
4)現場打法枠工(プレキャスト法枠工含む)	<input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由:																																						
5)落石防護工	<input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> アンカーの長さ、グラウト、引張強度が設計条件を満足している。 <input type="checkbox"/> 金網の設置について必要な重ね幅を確保し、法面になじみよく施工されている。 <input type="checkbox"/> ワイヤロープの交差部・連結部の固定が確実で、ゆるみなく施工されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:																																						

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																													
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・基礎工事及び 地盤改良工事  1)杭関係  (コンクリート ・鋼管 ・鋼管井筒、 場所打、 深礎等)  2)地盤改良関係	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。</p> <p>□□ 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</p> <p>□□ 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。</p> <p>□□ 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</p> <p>□□ 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 配筋、スパーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</p> <p>□□ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>□□ その他 理由:</p> <p>□□ 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>□□ 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。</p> <p>□□ 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</p> <p>□□ その他 理由:</p>	<p>●評価対象項目</p> <p>□□ 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。</p> <p>□□ 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</p> <p>□□ 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。</p> <p>□□ 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</p> <p>□□ 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 配筋、スパーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</p> <p>□□ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>□□ その他 理由:</p> <p>□□ 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>□□ 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。</p> <p>□□ 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</p> <p>□□ その他 理由:</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																																
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																					

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																																
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・コンクリート橋 上部工事  (PC及びRCを 対象)	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> プレブーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																																
		理由:		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td colspan="1">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
		●判断基準		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																				

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：																																				
		評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																				
		●判断基準																																				
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				



考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) トンネル工事	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・植栽工事	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し、施工に反映していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。  <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                  ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                  ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																												
3. 出来形 及び 出来ばえ II. 品質	(土木工事) ・防護柵(網)工事 ・標識工事 ・区画線等設置工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 基礎設置箇所について地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。</p> <p>□□ 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。</p> <p>□□ ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。</p> <p>□□ ペイント式(常温式)区画線に使用するシナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。</p> <p>□□ 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。</p> <p>□□ 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となり、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。</p> <p>□□ プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。</p> <p>□□ 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ その他</p> <p>理由:</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																												
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象</p>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'( +12)	b(+7.5)	b'( +4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																													
3. 出来形 及び 出来ばえ II. 品質	(土木工事) ・雪寒PC 構造物等工事	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																			

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'( +12)	b(+7.5)	b'( +4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ II. 品質	〔土木工事〕 ・雪寒鋼製構造物 工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; 〔関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目 【工場製作関係】</p> <p>□□ 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 □□ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □□ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 □□ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 □□ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 □□ 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 □□ 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 □□ 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 □□ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>【架設関係】</p> <p>□□ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □□ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 □□ 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 □□ 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 □□ 支承の据付でコンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。 □□ 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 □□ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 □□ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 □□ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評 価 値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																				
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																				

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																																	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・雪寒消雪 配管工事  1) 土工事  2) 現場打コンクリート工 事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 掘削にあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。</p> <p>□□ 施工基面が平滑に施工されていることを写真等で確認できる。</p> <p>□□ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>□□ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>□□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ 配管及びノズルが適正な位置に配置されていることを写真等で確認できる。</p> <p>□□ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>□□ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□□ スペーサを適正に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。</p> <p>□□ プレキャストと取り付け部コンクリート構造物が適正に施工されている。</p> <p>□□ プレキャスト同士のつながりが適正に行われている。</p> <p>□□ プレキャストの規格が設計図書に定められた規格と同等以上であることが確認できる。</p> <p>□□ 混合物の温度管理において、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>□□ 気象条件に適した混合物の運搬処理、舗設作業(締固等)の配慮が行われている。</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																																	
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c		
評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																							
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																							

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・雪寒さく井工事	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のはらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ はらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 使用材料について仕様書と同等以上の規格であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 掘削完了後、電気検層を行いストレーナー設置位置について監督員と十分に協議している。</p> <p><input type="checkbox"/> 掘削孔とケーシングパイプとの隙間を丁寧に単粒度砂利で充填し、その状況を確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 砂利充填の上部は遮水粘土を充填し、その状況を確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 井戸内の排砂、排泥のための孔内洗浄を確実にやっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書に定める試験を確実にやり、その結果についてよく整理されている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																										
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																										
	1)共通  2)浚渫・床堀関係  3)地盤改良関係	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。 <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工している。 <input type="checkbox"/> 浚渫工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。 <input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> サンドドレーン・砕石ドレーン・サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションにおいて、連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ペーパードレーンにおいて、計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録より確認できると共に、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されている。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。				<b>●判断基準</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
4)マット・捨石 及び均し関係	<input type="checkbox"/> 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)により確認できる。 <input type="checkbox"/> マットが損傷なく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め施工において、既設構造物及び砂防目地版の破損がなく施工され、記録により確認できる。																																	
5)本体:杭及び 矢板、控工関係	<input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止め施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 腹起し材を規定の水平高さに全長にわたり取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させている。 <input type="checkbox"/> タイロッドは隅角部等の特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> タイワイヤーは隅角部等の特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して、仕様書に定められた事項が確認できる。																																	
6)本体:ケーソン 据付、ブロック 据付関係	<input type="checkbox"/> ケーソン仮置に先立ち、仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分に調査し、据付作業が所定の精度で行われている。 <input type="checkbox"/> ケーソン据付等及び中詰において、ケーソン及び既設構造物に損傷がなく、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分に調査し、据付作業が所定の精度で行われている。 <input type="checkbox"/> ブロック据付等において、ブロック及び既設構造物に損傷がなく、適切に施工されている。																																	
7)コンクリート 関係	<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。																																	

評価方法  
 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。  
 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する  
 ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。



考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・下水道工事  (開削・推進・シールド工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 管渠(管布設・推進・シールド)工において、出来形管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下がない。 <input type="checkbox"/> 管渠に影響を与えるクラックや変形がない。 <input type="checkbox"/> 管渠に漏水箇所がない。 <input type="checkbox"/> 管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である。 <input type="checkbox"/> 推進管の裏込め材料が充分充填されている。 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて、出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されている。 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて、各部材にはクラックがなく、漏水もない。 <input type="checkbox"/> マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置にガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。 <input type="checkbox"/> インパートはその表面仕上げが適切である。 <input type="checkbox"/> 施設内に土砂、モルタル、材料の断片等が見当らず、清掃されている。 <input type="checkbox"/> 掘削時の土留め方法や掘進時の掘進方法による周辺地盤への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく、仕上がり状態が良い。 <input type="checkbox"/> 縁石・柵・標識等の道路附属物の復旧が適切に行われている。																																				
		<b>評価方法</b> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																				
		<b>●判断基準</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'( +12)	b(+7.5)	b'( +4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																																	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・浚渫工事  1)浚渫  2)仮置又は盛土処理  3)関係試験	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意し施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。 <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないよう施工している。 <input type="checkbox"/> 施工上の注意事項(仕様書等)が守られている。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 盛土の排水処理等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 土質試験等を適切に行っている。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																																		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     評価方法                      ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                 </div>																																							
		●判断基準 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c		
評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																							

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																																	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	[土木工事] ・鋼構造物工事 (鋼製ダム、スリットダムなどの鋼構造物)	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt;</p> <p>[関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 塗装厚、ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>□□ 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>□□ 土工は過掘りがなく、構造物周辺の締め固め、埋め戻しが適切にされている。</p> <p>□□ 中詰石の規格が適切で、裏込め材等の吸い出しがない。</p> <p>□□ 中詰が整然と詰められている。(特に表面は大きさがそろい、丁寧に施工されている。)</p> <p>□□ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>□□ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>□□ 塗装の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																																	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>																																							
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c					
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																							

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																															
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・矢板工事  (基礎、土留、 岸壁、遮水な どの鋼構造物)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。 ●評価対象項目  <input type="checkbox"/> 矢板に損傷、補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 偏心量が全て管理基準値以内で施工されている。 <input type="checkbox"/> 端部の取付や接続が丁寧に施工されている。 <input type="checkbox"/> 遮水や水密性の施工が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の規格数量がミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 矢板の保管が適切に管理されていることが確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、監督職員 が文書で指示を行い改 善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、検査職員 が修補指示を行った。																															
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     評価方法                      ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                 </div>																																					
		●判断基準																																					
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																					

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																															
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・補強土壁工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 盛土材料の品質等が適正である。(現場発生土等を用いる場合はその中で良質な材料で施工していることが確認できる。) <input type="checkbox"/> 盛土の締固めを適切な条件(人力機械別、巻き出し厚・敷均し・転圧作業等)で施工されている。 <input type="checkbox"/> プレキャスト製品等・材料等の品質が工場管理資料よりの確に確認できる <input type="checkbox"/> 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																															
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     評価方法                      ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                 </div>																																					
		●判断基準																																					
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評 価 値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																					

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																													
3. 出来形 及び 出来ばえ II. 品質	(土木工事) ・電線共同溝 工事	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由:</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った</p>																													
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																			

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																												
3. 出来形 及び 出来ばえ	(土木工事) ・維持補修工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。																													
II. 品質		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕様書等に定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 材料の試験配合等が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 材料使用前の検収・確認が行われている。 <input type="checkbox"/> 材料使用数量が適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> 施工条件の管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工面の下地処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 仕上面が平滑に施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕上面の変色等が見られず均一に施工されている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物と補修箇所の境がマスキングテープ等で処理されている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物と補修箇所の色具合等が同等に施工されている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物と補修箇所のすりつけが適切に施工されている。																																		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                      ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>																																		
		●判断基準																																		
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・維持修繕工事	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p>●判断基準</p> <p>※ 該当項目が6項目以上……………a</p> <p>※ 該当項目が5項目……………a'</p> <p>※ 該当項目が4項目……………b</p> <p>※ 該当項目が3項目……………b'</p> <p>※ 該当項目が2項目以下……………c</p> <p>注 記載の5項目のうち4項目は必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。</p> <p>ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った</p>



考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・工場製作の 特殊製品等	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。 ●評価対象項目  <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> ゴム材料等の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 塗装等の付着量が適切に管理され、バラツキがない。 <input type="checkbox"/> 機械試験(載荷試験、せん断力試験、圧縮試験等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 試験機、測定機器の検定を実施している。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         評価方法                          ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                          ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                          ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                     </div> ●判断基準 <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評 価 値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																												
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・ほ場整備工事  1)共通  2)整地・客土工  3)用排水路工  4)二次製品水路	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt;</p> <p>[関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地区内の地表水及び地下水を排除し、ドライの状態で行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 濁り等の防止に十分留意して施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 石レキ、根株等の除去は仕様書に定められたとおり実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 表土剥ぎ取り、基盤切盛、畦畔築立等が仕様書及び設計図書により施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 整地仕上が仕様書・設計図書の規定のとおり施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 客土厚さが仕様書・設計図書の規定のとおり確保されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 用・排水路の縦断勾配等において、ほ場面標高等を考慮して施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 用・排水路の法面のとおりが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物側面の埋め戻しにおいて、仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面どおりに実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 二次製品との取り付け部コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。</p> <p><input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、据え付けの際に十分な注意を払っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設置工事は適切な深さと関係諸基準に基づき設置されている。</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																												
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																		

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・暗渠排水工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている</p> <p>□□ 材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>□□ 暗渠排水の施工にあたり、表土と基盤土の混合を防止していることが確認できる。</p> <p>□□ 暗渠排水の被覆材の厚さを確保し、管体を十分被覆していることが確認できる。</p> <p>□□ 暗渠排水が所定の深さ及び勾配で布設されていることが確認できる。</p> <p>□□ 暗渠排水の配管接続部において確実に接合されていることが確認できる。</p> <p>□□ 暗渠排水において、掘削溝底部が凸凹、蛇行のないように施工されていることが確認できる。</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の口のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・ため池工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 □□ 材料の品質規格証明書が整備されている。 □□ 基礎処理施工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い、適切に実施されている。 □□ 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 □□ 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施している。 □□ 気象条件を考慮した施工が確認できる。 □□ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □□ 地盤改良の施工が仕様書に従い、適切に実施されている。 □□ フィルター工の施工が仕様書に従い、適切に施工されている。 □□ 盛土工の施工が仕様書に従い、適切に施工されている。 □□ 計測計器類が仕様書に従い、適切に設置されている。 □□ 二次製品の吊り込み、据え付けの際に十分な注意を払っていることが確認できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																																
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・管路工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 管の吊り込み、据え付けの際に、常に十分な注意を払っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。</p>					<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>																																
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>																																						
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>						評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c
評価値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
	90%以上	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・コンクリート二次製品水路工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。 ●評価対象項目  <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 法面の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 埋め戻し・締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面どおりに実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、据え付けの際に、常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 目地が良好に仕上げられている。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																														
		●判断基準			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																				

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(土木工事) ・森林整備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った
II. 品質	1) 植栽	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 適期に施工されている。 <input type="checkbox"/> 地拵え(伐倒、刈払、枝条整理等)は適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 保存木(保残木)は、適切に残置されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 苗木の管理(仮植、運搬、断幹等)は適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 植栽(植穴、施肥、客土、密度、締固め等)は適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施肥(種類、施肥量、施肥方法等)は適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 植付間隔及び配植が管理されている。 <input type="checkbox"/> 階段工の間隔、幅、延長、掘削法勾配が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 階段工の盛土部分の崩壊がおきないように適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 測量杭の確保等、境界の保全がされている。 <input type="checkbox"/> 簡易施設は適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:						
	2) 本数調整伐	<input type="checkbox"/> 選木は適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 伐採木は完全に倒伏され整理されている。 <input type="checkbox"/> 残存木に損傷等がない。 <input type="checkbox"/> 伐採高は地上高概ね0.5m(なだれ防止の場合は概ね1.0m)以内で適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 残存木に巻き付いた蔓茎類は丁寧に切断、除去されている。 <input type="checkbox"/> 林縁木の残存により林分保護がされている。 <input type="checkbox"/> 測量杭の確保等、境界の保全がされている。 <input type="checkbox"/> 簡易施設は適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:						

調査項目	工 種			
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・森林整備工事  3) 除伐          4) 枝落し          5) 下刈り	<input type="checkbox"/> 植栽木へ支障のある雑木は、適切に除去されている。 <input type="checkbox"/> 植栽木へ支障のない雑木は、残置されている。 <input type="checkbox"/> 植栽木であっても、枯損木・損傷木・暴れ木等は伐採されている。 <input type="checkbox"/> 伐採木は完全に倒伏され整理されている。 <input type="checkbox"/> 残存木は損傷がない。 <input type="checkbox"/> 肥料木は必要に応じて適切に処置(台切等)されている。 <input type="checkbox"/> 植栽木に巻き付いた蔓茎類は、丁寧に切断、除去されている。 <input type="checkbox"/> 測量杭の確保等、境界の保全がされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:  <input type="checkbox"/> 適期に施工されている。 <input type="checkbox"/> 所定の高さまで施工されている。 <input type="checkbox"/> 枯枝は落としてある。 <input type="checkbox"/> 樹皮に根傷は無く、切断面は平滑(なめらか)に切除されている。 <input type="checkbox"/> 残枝長が適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 植栽木に巻き付いた蔓茎類は丁寧に切断、除去されている。 <input type="checkbox"/> 林縁木の残存により林分保護がされている。 <input type="checkbox"/> 測量杭の確保等、境界の保全がされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:  <input type="checkbox"/> 適期に施工されている。 <input type="checkbox"/> 植栽木に支障となる地被物は地際より丁寧に刈り払われている。 <input type="checkbox"/> 植栽木の誤伐・損傷はない。 <input type="checkbox"/> 二又木の処理がされている。 <input type="checkbox"/> 刈払物により植栽木の乾燥防止が図られている。 <input type="checkbox"/> 蔓茎類は地際より切断され、植栽木から除去されている。 <input type="checkbox"/> 測量杭の確保等、境界の保全がされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:		



考查項目	工種																															
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・森林整備工事 6) 雪起し	<p> <input type="checkbox"/> 適期に施工されている。  <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明書が整備されている。  <input type="checkbox"/> 植栽木の樹幹の損傷がない。  <input type="checkbox"/> 植栽木は若干強度に引き起こされている。  <input type="checkbox"/> 植栽木の根がゆるんでいるものは十分踏み固められている。  <input type="checkbox"/> 植栽木の浮根・根返り等、生育の見込のない倒木は伐倒されている。  <input type="checkbox"/> 倒伏している植栽木はすべて起こされている。  <input type="checkbox"/> 測量杭の確保等、境界の保全がされている。  <input type="checkbox"/> その他         </p> <p>理由:</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。            ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する            ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																												
	50%以下	80%以下	80%を超える																													
90%以上	a	a'	b	b																												
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c	c																												
60%未満	b'	c	c	c																												

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'( +12)	b(+7.5)	b'( +4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・木製構造物工事	<p>□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>□□ 材料の品質及び形状について、設計図書等に適合していることが確認ができ、証明書が整備されている。</p> <p>□□ 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。</p> <p>□□ 構造物の中詰等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがない。</p> <p>□□ 材料に損傷や補修痕がない。</p> <p>□□ 構造物の締め付け固定が確実に実施されていることが確認できる。</p> <p>□□ 端部のすりつけ等、きめ細かい注意がうかがえる。</p> <p>□□ 各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。</p> <p>□□ その他</p> <p>理由:</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った</p>	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'+(4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)		
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) ・治山山腹工事 (主にコンクリート工事を 主体としない治山山腹工 事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、監督職員 が文書で指示を行い改 善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、検査職員 が修補指示を行った	
	1)土工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水等による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。								
	2)コンクリート小構造物工事	<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリートを含む)								
	3)護岸工事	<input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。								
	4)法面工事	<input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽工の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。								
	5)二次製品工事	<input type="checkbox"/> 用・排水路の施工基面が平滑でとおりが良い。 <input type="checkbox"/> 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。								
6)植栽工事	<input type="checkbox"/> 苗木に損傷や病害虫がない。 <input type="checkbox"/> 植栽時期、方法が適切である。									

評価方法

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。  
 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																														
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事)  ・なだれ柵工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った																														
		<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 柵の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 柵の配置、締付固定が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 植栽間隔、植栽方法、時期、範囲が適切である。 <input type="checkbox"/> アンカー、ワイヤーロープの品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 土砂アンカー、岩アンカーに規定の引張強度が確認できる。 <input type="checkbox"/> ワイヤーロープの規定角度が適切である。 <input type="checkbox"/> 土工は、過掘りがなく、構造物周辺の締固、残土処理等が適切である。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。																																				
		<p>評価方法</p> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(土木工事) 機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
II. 品質	加減点	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係る成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
		<p>●判断基準</p> 評価値が90%以上…………… a 評価値が80%以上90%未満…………… a' 評価値が70%以上80%未満…………… b 評価値が60%以上70%未満…………… b' 評価値が60%未満…………… c				<p>評価方法</p> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) 電気設備工事  加減点	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能および性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正または更新)していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</li> </ul>	
		<p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上..... a</li> <li>評価値が80%以上90%未満..... a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満..... b</li> <li>評価値が60%以上70%未満..... b'</li> <li>評価値が60%未満..... c</li> </ul>				<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</li> <li>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</li> <li>③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )</li> <li>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</li> </ul>			

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(土木工事) 通信設備工事 受変電設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
II. 品質	加減点	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体および各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>●判断基準                      評価値が90%以上..... a                      評価値が80%以上90%未満..... a'                      評価値が70%以上80%未満..... b                      評価値が60%以上70%未満..... b'                      評価値が60%未満..... c</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>
						<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質  (土木工事と ともに発注 された建築 工事)	(土木工事) 建築工事  加減点	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建具、ユニット等の性能および機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</li> </ul>		
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a                  評価値が80%以上90%未満... a'                  評価値が70%以上80%未満... b                  評価値が60%以上70%未満... b'                  評価値が60%未満..... c</p>		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                  ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                  ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。



考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質  (土木工事とともに発注された建築工事)	(土木工事) 電気設備工事  加減点	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示および危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )				<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
		●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満... a' 評価値が70%以上80%未満... b 評価値が60%以上70%未満... b' 評価値が60%未満..... c		評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。				

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	工種	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)	
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質  (土木工事と ともに発注 された建築 工事)	(土木工事) 機械設備工事  加減点	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示および危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満... a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満... b</p> <p>評価値が60%以上70%未満... b'</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>					

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考査項目	工 種	<A>	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) 上記以外の工事又は合 併工事 <A>	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p><input type="checkbox"/> 理由:</p> <p>●判断基準</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;A&gt; 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※ 該当項目が90%以上.....a</p> <p>※ 該当項目が80%以上90%未満.....a'</p> <p>※ 該当項目が70%以上80%未満.....b</p> <p>※ 該当項目が60%以上70%未満.....b'</p> <p>※ 該当項目が60%未満.....c</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div> </div>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、監督職員が 文書で指示を行い改善 された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、検査職員 が修補指示を行った。	

考 査 項 目 別 運 用 表

(第三次評定者)

考查項目	工種		a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4.0)	c(0)	d(-12.5)	e(-25)																								
3. 出来形 及び 出来ばえ  II. 品質	(土木工事) 上記以外の工事又は合併工事 <B>	<B>	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木・農林等の工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙7参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																								
		●評価対象項目	<input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由:																														
		●判断基準	<p>&lt;B&gt; 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: middle;">                     ① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      ② 評価値(   %)=該当項目数(   )/評価対象項目数(   )                      ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。                 </td> <td colspan="3" style="text-align: center;">ばらつきで判断可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">50%以下</td> <td style="text-align: center;">80%以下</td> <td style="text-align: center;">80%を超える</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">75%以上90%未満</td> <td style="text-align: center;">a'</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">60%以上75%未満</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">60%未満</td> <td style="text-align: center;">b'</td> <td style="text-align: center;">c</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>							① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(   %)=該当項目数(   )/評価対象項目数(   ) ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	ばらつきで判断可能				50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(   %)=該当項目数(   )/評価対象項目数(   ) ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	ばらつきで判断可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																													
	90%以上	a	a'	b																													
	75%以上90%未満	a'	b	b'																													
	60%以上75%未満	b	b'	c																													
60%未満	b'	c	c																														

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ. 出来ばえ	<p>【土木工事】 道路改良・農道改良・林道・交通安全・路肩拡幅・歩道新設・災害防除工事</p>	<input type="checkbox"/> 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通り、肌が良い。 <input type="checkbox"/> 小構造物にも細心の注意がはらわれ、きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 法面の植生又はコンクリート(モルタル)吹付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 路盤の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工・構造物のすりつけや端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 民地との境界処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当6項目以上………… a 該当5項目………… b 該当3項目………… c 該当2項目以下………… d
	<p>【土木工事】 コンクリート構造物工事 トンネル工事</p>	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当5項目以上………… a 該当4項目………… b 該当3項目………… c 該当2項目以下………… d
	<p>【土木工事】 土工事 (盛土・築堤工事等)</p>	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目………… b 該当2項目………… c 該当1項目以下………… d
	<p>【土木工事】 切土工事</p>	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 施工面の木根等が確実に処理されている <input type="checkbox"/> 残土等は適切に処理されている。	件	※ 該当6項目以上………… a 該当5項目………… b 該当3項目………… c 該当2項目以下………… d
	<p>【土木工事】 護岸・根固・水制工事 海岸工事</p>	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目………… b 該当2項目………… c 該当1項目以下………… d
	<p>【土木工事】 鋼橋工事 雪寒鋼構造物工事</p>	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目………… b 該当2項目………… c 該当1項目以下………… d

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ. 出来ばえ				
【土木工事】 河川改良工事	<input type="checkbox"/> 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。又は連結状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	
【土木工事】 地すべり工事 (承水路、排水路、集水井、アンカー工)  砂防治山工事  注( )内は集水井、アンカー工に適用する。	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックおよび漏水がない。 <input type="checkbox"/> 法面の通りが良い。(施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。) <input type="checkbox"/> 植生、吹き付け等の状態が均一である。(排水処理が適切に実施されている。) <input type="checkbox"/> 法面の端部処理が良い。(残土等は適切に処理されている。) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当6項目以上………… a 該当5項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下………… d	
【土木工事】 地すべり工事 (水抜きボーリング、抑止杭工)	<input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 排水処理が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	
【土木工事】 舗装工事	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当5項目以上………… a 該当4項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下………… d	
【土木工事】 法面工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当3項目以上………… a 該当2項目 …………… b 該当1項目 …………… c 該当項目なし …………… d	
【土木工事】 基礎工事及び 地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。	件	※ 該当3項目以上………… a 該当2項目 …………… b 該当1項目 …………… c 該当項目なし …………… d	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III. 出来ばえ				
【土木工事】 コンクリート橋上部工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当5項目以上…………… a 該当4項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下…………… d	
【土木工事】 塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上…………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下…………… d	
【土木工事】 植栽工事	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当3項目以上…………… a 該当2項目 …………… b 該当1項目 …………… c 該当項目なし …………… d	
【土木工事】 防護柵(網)工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当5項目以上…………… a 該当4項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下…………… d	
【土木工事】 標識工事	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上…………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下…………… d	
【土木工事】 区画線工事	<input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上…………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下…………… d	
【土木工事】 雪寒PC構造物等工事	<input type="checkbox"/> コンクリートの構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物表面に気泡が目立たない。(又はプレキャスト部に欠損がなく、擦り傷が目立たない。) <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。(又は連結部の仕上げが良い。) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当6項目以上…………… a 該当4項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下…………… d	

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ. 出来ばえ				
【土木工事】 雪寒消雪配管工事	<input type="checkbox"/> 道路横断形状に対して設置位置が適切であり、通りが良い。 <input type="checkbox"/> 設置高さが適切で、舗装面とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 起終点のすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリートや舗装表面にクラックがなく、均一な仕上がりととなっている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	
【土木工事】 雪寒さく井工事	<input type="checkbox"/> 設置位置周辺の仕上がりが良く、全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 工事写真によりケーシングパイプの接続や位置に細かな配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 揚水試験の結果が写真や報告書に的確に記録されており、取りまとめが良い。 <input type="checkbox"/> 建設発生土や汚泥の処理を確実にを行うなど、周辺への影響がないことが現地で確認できる。	件	※ 該当3項目以上………… a 該当2項目 …………… b 該当1項目 …………… c 該当項目なし …………… d	
【土木工事】 港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	
【土木工事】 下水道工事(開削工・推進工)	<input type="checkbox"/> 管渠の通りが良い。 <input type="checkbox"/> マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	
【土木工事】 下水道工事(シールド工)	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当6項目以上………… a 該当4項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下………… d	
【土木工事】 浚渫工事	<input type="checkbox"/> 施工管理記録等から浚渫完了状態の良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から土砂運搬状況の良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 仮置又は盛土の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 仮置又は盛土のとおりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	



考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III. 出来ばえ	<p>【土木工事】 鋼構造物工事</p> <p><input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。  <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。  <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。  <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当4項目以上…………… a                  該当3項目 …………… b                  該当2項目 …………… c                  該当1項目以下…………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 矢板工事</p> <p><input type="checkbox"/> サビやキズが認められない。  <input type="checkbox"/> 法線やかみ合わせが適切に施工されている。  <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等がよい。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上…………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 補強土壁工事</p> <p><input type="checkbox"/> 壁面材の変形や破損がない。  <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。(現地盤、他工事とのすりつけ)  <input type="checkbox"/> 壁面材の目違い、段差、ハラミ等が少なく構造物の通りが良い。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上…………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 電線共同溝工事</p> <p><input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。  <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。  <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上…………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 維持補修工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施工仕上げ面に色むらが見当たらない。  <input type="checkbox"/> 施工表面が一様であり凹凸が見当たらない。  <input type="checkbox"/> 既設構造物へのすりつけ(又は端部処理)が良い。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上…………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 維持修繕工事</p> <p><input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。  <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。  <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上…………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 工場製作の特殊製品等</p> <p><input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。  <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。  <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上…………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ. 出来ばえ				
【土木工事】 ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 土工(畦畔、溝畔等)の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 整地の均平度が良い。 <input type="checkbox"/> 土工のとおりが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等のすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 用・排水路のとおりが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物のとおりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当6項目以上………… a 該当4項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下………… d	
【土木工事】 暗渠排水工事	<input type="checkbox"/> 耕土埋め戻しの仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 溝畔復旧の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 水閘、及び配管の施工が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 吐出部の施工が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 管理資料、写真から不可視部分の出来映えの良さが伺える。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	
【土木工事】 ため池工事	<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 吹きつけ(植生、コンクリート等)の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当9項目以上………… a 該当7項目 …………… b 該当5項目 …………… c 該当4項目以下………… d	
【土木工事】 管水路工事	<input type="checkbox"/> 管の通りが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌と通りが良い。 <input type="checkbox"/> 埋戻し土や舗装復旧の平坦性やすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 管の継ぎ手処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当4項目以上………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下………… d	
【土木工事】 コンクリート二次製品水路工事	<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) <input type="checkbox"/> 接合部の仕上げが良く、漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当6項目以上………… a 該当5項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下………… d	
【土木工事】 森林整備工事	<input type="checkbox"/> 植栽、保育作業の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 伐倒木、枝条等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 植栽木(植生)が健全で、良好な生育が期待できる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	件	※ 該当3項目以上………… a 該当2項目 …………… b 該当1項目 …………… c 該当項目なし………… d	

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ. 出来ばえ	<p>【土木工事】 木製構造物工事</p> <p><input type="checkbox"/> 地山・既設構造物とのすりつけが良い。  <input type="checkbox"/> 構造物周辺の整地等が適切に施工されている。  <input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。  <input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 治山山腹工事(主にコンクリート工事を主体としない地滑り、山腹工事)</p> <p><input type="checkbox"/> 土工の通り、仕上げが良い。  <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせ、主鋼構造物の通りが良く、連結状況も良好である。  <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。  <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当4項目以上………… a                  該当3項目 …………… b                  該当2項目 …………… c                  該当1項目以下………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 なだれ柵工事</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の通りが良く、連結状況も良好である。  <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。  <input type="checkbox"/> 植栽木(苗木)が健全で、良好な育成が期待できる。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当3項目以上………… a                  該当2項目 …………… b                  該当1項目 …………… c                  該当項目なし …………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 機械設備工事</p> <p><input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。  <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。  <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。  <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当4項目以上………… a                  該当3項目 …………… b                  該当2項目 …………… c                  該当1項目以下………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 電気設備工事</p> <p><input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。  <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。  <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。  <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。  <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当5項目以上………… a                  該当4項目 …………… b                  該当3項目 …………… c                  該当2項目以下………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			
	<p>【土木工事】 通信設備工事 受変電設備工事</p> <p><input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がなされている。  <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。  <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。  <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。  <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。  <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p style="text-align: right;">※ 該当5項目以上………… a                  該当4項目 …………… b                  該当3項目 …………… c                  該当2項目以下………… d</p> <p style="text-align: center;">件</p>			

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III. 出来ばえ				
【土木工事】 建築工事(土木併注)	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 <input type="checkbox"/> 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 <input type="checkbox"/> 保全に配慮した施工がなされている。	件	※ 該当6項目以上…………… a 該当4項目 …………… b 該当3項目 …………… c 該当2項目以下…………… d	
【土木工事】 電気設備工事(土木併注) 機械設備工事(土木併注)	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。	件	※ 該当4項目以上…………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下…………… d	
【土木工事】 上記以外の工事 又は 合併工事	<input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: ※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。	件	※ 該当4項目以上…………… a 該当3項目 …………… b 該当2項目 …………… c 該当1項目以下…………… d	

別表 4

審査項目別運用表

第 一 次 評 定 (建築工事)		
1. 施工体制	I. 施工体制一般 II. 配置技術者(現場代理人等)	別紙—4. 1 (建築工事) 別紙—4. 2 (建築工事)
2. 施工状況	I. 施工管理 II. 工程管理 III. 安全対策 IV. 対外関係	別紙—4. 3 (建築工事) 別紙—4. 4 (建築工事) 別紙—4. 5 (建築工事) 別紙—1. 6 (共通)
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形 II. 品質	別紙—4. 6 (建築工事) 別紙—4. 7 (建築工事) 別紙—4. 7. 1～4. 7. 2 (建築工事)
5. 創意工夫	I. 創意工夫	別紙—4. 8 (建築工事)
<p>【共通】 土木、公共建築、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【土木工事】 土木、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【建築工事】 公共建築に係る工種に適用 (設備工事を含む)</p>		

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細 別	a(+1.0)	b(+0.5)	c(±0)	d(-5.0)	e(-10.0)
1. 施工体制	(公共建築工事) I. 施工体制一般  加減点	施工体制が優れている	施工体制が良好である	施工体制が適切である	施工体制がやや不適切である	施工体制が不適切である
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理体制が、書面に適切に記載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全管理体制が、書面に適切に記載されている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a            評価値が80%以上90%未満 ..... b            評価値が60%以上80%未満 ..... c            評価値が60%未満 ..... d</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。            ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する            ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細 別	a(+3.0)	b(+1.5)	c(±0)	d(-5.0)	e(-10.0)	
1. 施工体制	(公共建築工事) II. 配置技術者(現場代理人等)  加減点	配置技術者として優れている	配置技術者として良好である	配置技術者として適切である	配置技術者としてやや不適切である	配置技術者として不適切である	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 約款第18条(条件変更等)第1項に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 書類及び資料が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		●判断基準 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満 ... b 評価値が60%以上80%未満 ... c 評価値が60%未満 ..... d			評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		

※1. 建築一式工事を施工する場合において、一式工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工するときは、当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。なお、主任技術者が当該専門工事の資格を有していれば、専門技術者を兼ねることができる。

※2. 作業主任者を専任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。

考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細 別	a(+4.0)	b(+2.0)	c(±0)	d(-5.0)	e(-10.0)
2. 施工状況	(公共建築工事)	施工管理が優れている	施工管理が良好である	施工管理が適切である	施工管理がやや不適切である	施工管理が不適切である
	I. 施工管理	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 約款第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する建築材料(以下「材料」という。)・設備機材(以下「機材」という。)の調達計画及び搬入後の管理が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内検査が計画的に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	加減点	●判断基準 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満 ... b 評価値が60%以上80%未満 ... c 評価値が60%未満 ..... d			評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	



考查項目別運用表

(第一次評定者)

考查項目	細 別	a(+4.0)	b(+2.0)	c(±0)	d(-5.0)	e(-10.0)	
2. 施工状況	(公共建築工事)	工程管理が優れている	工程管理が良好である	工程管理が適切である	工程管理がやや不適切である	工程管理が不適切である	
	II. 工程管理  加減点	<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工程のフォローアップを実施し、受注者の責により関連工事及び施設管理者等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 受注者の責による夜間や休日の作業がない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 休日・代休の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 近隣住民(施設管理者等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	
		<p>●判断基準</p> 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満 ... b 評価値が60%以上80%未満 ... c 評価値が60%未満 ..... d			<p>評価方法</p> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	細 別	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5.0)	e(-10.0)
2. 施工状況	(公共建築工事)	安全対策が優れている	安全対策が良好である	安全対策が適切である	安全対策がやや不適切である	安全対策が不適切である
	Ⅲ. 安全対策  加減点	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘がない、又は指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 過積載防止に十分に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		●判断基準 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満 ... b 評価値が60%以上80%未満 ... c 評価値が60%未満 ..... d			評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は○評価とする。	

審査項目別運用表

(第一次評定者)

審査項目	細 別	a(+2.0)	b(+1.0)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)
2. 施工状況	(共通) IV. 対外関係 加減点	対外関係が優れている	対外関係が良好である	対外関係が適切である	対外関係がやや不適切である	対外関係が不適切である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、近隣住民(施設管理者等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成時に施設管理者等に対する保守管理についての適切な説明書が作成されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 近隣住民(施設管理者等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場のイメージアップに、取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満 ... b</p> <p>評価値が60%以上80%未満 ... c</p> <p>評価値が60%未満 ..... d</p>			<p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>				

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	細別	a(+4.0)	b(+2.0)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  I. 出来形 ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 加減点	出来形が優れている	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製品・機器類の出来形が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の出来形が、施工図等により確認でき、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法を工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満... b</p> <p>評価値が60%以上80%未満... c</p> <p>評価値が60%未満 ..... d</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。</p>
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>					

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	細 別	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  II. 品質 ・建築工事 加減点	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の品質が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )			<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、 監督職員が文書による 改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき 監督職員が改造請求を 行った。
		●判断基準 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満... b 評価値が60%以上80%未満... c 評価値が60%未満 ..... d		評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	細 別	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  II. 品質 ・電気設備工事  加減点	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )			<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
		●判断基準 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満... b 評価値が60%以上80%未満... c 評価値が60%未満 ..... d		評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。			

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考査項目別運用表

(第一次評定者)

考査項目	細 別	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-2.5)	e(-5.0)	
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  II. 品質 ・機械設備工事  加減点	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )			<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
		●判断基準 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満... b 評価値が60%以上80%未満... c 評価値が60%未満 ..... d		評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考查項目別運用表

考查項目	細 別	工 夫 事 項	
5. 創意工夫	(公共建築工事) I. 創意工夫 評価項目数	■ 準備・後片づけ関係	<input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他： (理由： )
		■ 施工関係	<input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取り組み <input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 <input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫 <input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫 <input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 <input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫 <input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 <input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> その他： (理由： )
		■ 品質関係	<input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他： (理由： )



考査項目	細 別	工 夫 事 項	
5. 創意工夫	(公共建築工事) I. 創意工夫	<b>■ 安全衛生関係</b>	<input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、 <input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 <input type="checkbox"/> 作業時における作業環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> その他： (理由： )
		<b>■ 施工管理関係</b>	<input type="checkbox"/> 出来形の管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工計画書または写真記録等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 <input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> CALSを活用した施工管理の工夫 <input type="checkbox"/> その他： (理由： )
		<b>■ その他</b>	<input type="checkbox"/> その他： (理由： ) <input type="checkbox"/> 週休2日の確保が図られている。(R2.4.1以降に入札公告した工事から適用) <input type="checkbox"/> 若手や女性技術者の登用により担い手確保が図られている。(R2.4.1以降に入札公告した工事から適用)
	記述評価  【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細に記述】	評点：      点	詳細評価内容

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。

※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、第二次評定者が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。

※5. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

別表 5

審査項目別運用表

第 二 次 評 定 (建築工事)		
2.施工状況	II. 工程管理 III. 安全対策	別紙—5. 1 (建築工事) 別紙—5. 1 (建築工事)
4.工事特性	I. 施工条件等への対応	別紙—5. 2 (建築工事)
6.社会性等	I. 地域への貢献	別紙—5. 3 (建築工事)
7.法令遵守等		別紙—2. 4 (共通)
<p>【共 通】土木、公共建築、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【土木工事】土木、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【建築工事】公共建築に係る工種に適用(設備工事を含む)</p>		

考査項目別運用表

(第二次評定者)

考査項目	細 別	a(+2.0)	b(+1.0)	c(±0)	(-7.5)	e(-15.0)
2. 施工状況 (公共建築工事)	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 工程管理が優れている	<input type="checkbox"/> 工程管理が良好である	<input type="checkbox"/> 工程管理が適切である	<input type="checkbox"/> 工程管理がやや不適切である	<input type="checkbox"/> 工程管理が不適切である
	加減点	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣住民(施設管理者等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断してa、b、c、d、e評価を行う。 (標準) 該当項目数が4以上.....a 該当項目数が2以上.....b 該当項目数が1以下.....c 工程管理に対し、文書指導を行った。.....d 工程管理を怠ったことにより工期延期した。....e</p>				
	III. 安全対策	a(+3.0)	b(+1.5)	c(±0)	(-7.5)	e(-15.0)
	加減点	<input type="checkbox"/> 安全対策が優れている	<input type="checkbox"/> 安全対策が良好である	<input type="checkbox"/> 安全対策が適切である	<input type="checkbox"/> 安全対策がやや不適切である	<input type="checkbox"/> 安全対策が不適切である
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が、適切に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断してa、b、c、d、e評価を行う。 (標準) 該当項目数が5以上.....a 該当項目数が2以上.....b 該当項目数が1以下.....c 安全対策に対し、文書指導を行った。.....d 安全対策を怠ったことにより工期延期した。....e</p>				

考査項目別運用表

(第二次評定者)

考査項目	細 別	対 応 事 項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性 (公共建築工事)	施工条件等への対応	<p>■建物規模への対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上し点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 延べ面積10,000㎡以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物</p> <p><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p>
		<p>■建物固有の機能の難しさへの対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上し点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル</p> <p><input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事</li> <li>・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li>・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物</li> </ul>
		<p>■建物固有の施工技術の難しさへの対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上し点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】</p> <p><input type="checkbox"/> 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合</p> <p><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事</li> <li>・特殊な工法及び材料等を採用した工事</li> <li>・特殊な設備システムを採用した工事</li> <li>・免震装置を設ける工事</li> <li>・大規模な山留め工法が必要な工事</li> <li>・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行う工事</li> <li>・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事</li> </ul>
		<p>■厳しい自然・地盤条件への対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上し点が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</p> <p><input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事</li> <li>・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事</li> <li>・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事</li> </ul>

審査項目	細 別	対 応 事 項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性 (公共建築工事)	施工条件等への対応	<p>■ 厳しい周辺環境、社会条件との対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上し点が付けば2点の加点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物</li> <li><input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</li> <li><input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</li> <li><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul> <p>【評価技術事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事</li> <li>・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事</li> <li>・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事</li> <li>・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事</li> <li>・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事</li> </ul>
		<p>■ 施工現場での対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つにし点が付けば4点の加点とする。</p> <p>【長期工事における安全確保への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く)</li> </ul> <p>【災害等での臨機の措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事</li> </ul> <p>【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事</li> <li><input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事</li> <li><input type="checkbox"/> 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事</li> <li><input type="checkbox"/> 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事</li> <li><input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事</li> <li><input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事</li> <li><input type="checkbox"/> 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事</li> <li><input type="checkbox"/> 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事</li> <li><input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul>
	<p>記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】</p>	<p>評点: _____ 点</p>	<p>詳細評価内容</p>

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。

※2. 第一次評定者が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。

※3. 評価にあたっては、第一次評定者の意見も参考に評価する。

考査項目別運用表

(第二次評定者)

考査項目	細 別	a(+10.0)	a(+7.5)	b(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)
6. 社会性等 (公共建築工事)	I. 地域への 貢献等	<input type="checkbox"/> 地域への貢献が優れている	<input type="checkbox"/> 地域への貢献がやや優れている	<input type="checkbox"/> 地域への貢献が良好である	<input type="checkbox"/> 地域への貢献がやや良好である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない
	加減点	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> その他: (理由: )				
	記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点: _____点	詳細評価内容			

※1. 第二次評定者は、第一次評定者の意見を参考に総合的な評価を行う。

※2. 評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとられず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。

※3. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。

※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

考查項目別運用表

(第二次評定者)

考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表																							
7. 法令遵守等 (共通)  加減点	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="376 288 1473 320">措置内容</th> <th data-bbox="1473 288 1812 320">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="376 320 1473 352"><input type="checkbox"/> 項目該当なし</td> <td data-bbox="1473 320 1812 352">0点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 352 1473 384"><input type="checkbox"/> 指名停止3ヶ月以上</td> <td data-bbox="1473 352 1812 384">-20点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 384 1473 416"><input type="checkbox"/> 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td data-bbox="1473 384 1812 416">-15点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 416 1473 448"><input type="checkbox"/> 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td data-bbox="1473 416 1812 448">-13点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 448 1473 480"><input type="checkbox"/> 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td data-bbox="1473 448 1812 480">-10点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 480 1473 512"><input type="checkbox"/> 文書注意</td> <td data-bbox="1473 480 1812 512">-8点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 512 1473 544"><input type="checkbox"/> 口頭注意</td> <td data-bbox="1473 512 1812 544">-5点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 544 1473 576"><input type="checkbox"/> 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該工事に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(もらい事故や交通事故は含まない。)</td> <td data-bbox="1473 544 1812 576">-3点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 576 1473 608"><input type="checkbox"/> 総合評価落札方式において、入札時に加点評価された項目が達成されず、契約金額の減額または損害賠償請求を行った。</td> <td data-bbox="1473 576 1812 608">-10点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 608 1473 671"><input type="checkbox"/> その他:</td> <td data-bbox="1473 608 1812 671">点</td> </tr> </tbody> </table>	措置内容	点数	<input type="checkbox"/> 項目該当なし	0点	<input type="checkbox"/> 指名停止3ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	<input type="checkbox"/> 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	<input type="checkbox"/> 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	<input type="checkbox"/> 文書注意	-8点	<input type="checkbox"/> 口頭注意	-5点	<input type="checkbox"/> 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該工事に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(もらい事故や交通事故は含まない。)	-3点	<input type="checkbox"/> 総合評価落札方式において、入札時に加点評価された項目が達成されず、契約金額の減額または損害賠償請求を行った。	-10点	<input type="checkbox"/> その他:	点	
措置内容	点数																							
<input type="checkbox"/> 項目該当なし	0点																							
<input type="checkbox"/> 指名停止3ヶ月以上	-20点																							
<input type="checkbox"/> 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																							
<input type="checkbox"/> 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																							
<input type="checkbox"/> 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																							
<input type="checkbox"/> 文書注意	-8点																							
<input type="checkbox"/> 口頭注意	-5点																							
<input type="checkbox"/> 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該工事に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(もらい事故や交通事故は含まない。)	-3点																							
<input type="checkbox"/> 総合評価落札方式において、入札時に加点評価された項目が達成されず、契約金額の減額または損害賠償請求を行った。	-10点																							
<input type="checkbox"/> その他:	点																							
<p>①本考查項目(7.法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。                      ②「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。                      ③「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p>																								
<p><b>【上記で評価する場合の適応事例】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。</li> <li>2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li> <li>3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</li> <li>6.一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</li> <li>7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</li> <li>8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> <li>10.下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</li> <li>11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。</li> <li>12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>13.下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記載されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>14.安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</li> <li>15.福井県建設工事元請下請関係適正化指導要綱の規定に違反し、適正な元請下請関係の確保に支障がある事実が判明した。</li> <li>16.特記事項：(暫定評価の明示及び理由等記入)</li> </ol>																								

別表 6

考査項目別運用表

第三次評定(建築工事)		
2. 施工状況	I. 施工管理	別紙—6. 1(建築工事)
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	別紙—6. 2(建築工事)
	II. 品質	別紙—6. 3～6. 5(建築工事)
	III. 出来ばえ	別紙—6. 6～6. 8(建築工事)
<p>【共通】土木、公共建築、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【土木工事】土木、農地、林務に係る工種に適用</p> <p>【建築工事】公共建築に係る工種に適用(設備工事を含む)</p>		



考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	細 別	a(+5.0)	b(+2.5)	c(±0)	d(-7.5)	e(-15.0)
2. 施工状況	(公共建築工事)	施工管理が優れている	施工管理が良好である	施工管理が適切である	施工管理がやや不適切である	施工管理が不適切である
	I. 施工管理 加減点	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 約款第18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料の整理がよい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		●判断基準 評価値が90%以上 ..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が60%以上80%未満..... c 評価値が60%未満 ..... d		評価方法 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。 ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		

考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	a(+10)	a'(+7.5)	b(+5)	b'(+2.5)	c(±0)	d(-10)	e(-20)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  I. 出来形 ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 加減点	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
		<p>〔評価対象項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・機材の出来形が、承諾図等により確認出来、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の出来形が、施工図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法が工夫されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切に処分をしていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )</li> </ul> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a            評価値が80%以上90%未満... a'            評価値が70%以上80%未満... b            評価値が60%以上70%未満... b'            評価値が50%以上60%未満... c            評価値が50%未満 ..... d</p>					<p>□ 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>□ 出来形が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p>	
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。            ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する            ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )            ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>						

※1. 出来形の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの」であり、工事的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	細別	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)	
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  Ⅱ. 品質 ・建築工事 加減点	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建具、ユニット等の性能および機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul>					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価値が90%以上 ..... a</li> <li>評価値が80%以上90%未満... a'</li> <li>評価値が70%以上80%未満... b</li> <li>評価値が60%以上70%未満... b'</li> <li>評価値が50%以上60%未満... c</li> <li>評価値が50%未満 ..... d</li> </ul>					<p>評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</li> <li>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</li> <li>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</li> <li>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</li> </ol>		

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)	
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  Ⅱ. 品質 ・電気設備工事 加減点	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>〔評価対象項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示および危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他： (理由： )</li> </ul>					<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上…………… a                  評価値が80%以上90%未満… a'                  評価値が70%以上80%未満… b                  評価値が60%以上70%未満… b'                  評価値が50%以上60%未満… c                  評価値が50%未満…………… d</p>					<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                  ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	細別	a(+15)	a'(+12)	b(+7.5)	b'(+4)	c(±0)	d(-12.5)	e(-25)	
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  Ⅱ. 品質 ・機械設備工事 加減点	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示および危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</li> <li><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</li> </ul>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a                  評価値が80%以上90%未満... a'                  評価値が70%以上80%未満... b                  評価値が60%以上70%未満... b'                  評価値が50%以上60%未満... c                  評価値が50%未満 ..... d</p>					<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。                  ② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する                  ③ 評価値(%)=該当項目数( )/評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>		

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は「材料・機材」と「施工の完了したもの(システムを含む)」であり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	細別	a(+5)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  Ⅲ. 出来ばえ ・建築工事 加減点	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 保身に配慮した施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満... b</p> <p>評価値が80%未満 ..... c</p>			
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			

※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価すること。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考査項目別運用表

(第三次評定者)

考査項目	細別	a(+5)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  Ⅲ. 出来ばえ ・電気設備工事 加減点	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満... b</p> <p>評価値が80%未満 ..... c</p>			
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			

※1. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估すること。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。

考查項目別運用表

(第三次評定者)

考查項目	細別	a(+5)	b(+2.5)	c(±0)	d(-5)
3. 出来形 及び 出来ばえ	(公共建築工事)  Ⅲ. 出来ばえ ・機械設備工事 <b>加減点</b>	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他: (理由: )</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 ..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満... b</p> <p>評価値が80%未満 ..... c</p>			
		<p>評価方法</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外項目の□のレマークをはずす。</p> <p>② 対象外項目のある場合は評価対象項目数を母数として、比率(%)で評価する</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			

※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価すること。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. 改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとする。



別表 7

# 「施工プロセス」のチェックリスト

所属 \_\_\_\_\_

1. 工事名 \_\_\_\_\_

2. 工期 \_\_\_\_\_

3. 受注者 \_\_\_\_\_

監督員名 \_\_\_\_\_

① 「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員が確認する。

② チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば口欄に「レ」を記入、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況を記入する。

③ 用語の定義  
 契約後：当初契約後      変更後：工期内に行う契約変更後      完成時：工事完成時      着手前：工事着手前      当初：当初施工計画書

検査時：完成検査      変更時：技術者変更時、施工計画書変更時

④ 対象外の場合は備考欄に明記する。

(1/5)

検査項目	種別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)			備考 (指示事項及びその是正状況など)		
			着手前	施工中	完成時			
書類もしくは現場で確認した月日								
1 施 工 体 制 制	I 施 工 体 制 一 般	○契約工程表	01・ 契約締結の7日以内に契約工程表が提出された。(約款第三条) (契約後、変更後)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				契約後	変更後	変更後		
		○工事カルテ	02・ 事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の10日以内に登録機関に申請した。 (変更時の技術者は主任、監理技術者のみ現場代理人や上記以外の技術者変更は申請不要) (請負金額500万円以上が対象工事) (契約後、変更後、完成時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				契約後	変更後	変更後	完成時	
		○品質証明 (設計図書に定め るもの)	03・ 品質証明員の資格(身分及び経歴)が適正である。 また、品質証明員に関する資料を書面で提出した。(契約後、変更後)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				契約後	変更後	変更後		
			04・ 工事途中及び検査時の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により提出した。 (検査の前等)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
					施工時	施工時		
			05・ 品質証明は、出来高、品質及び写真管理等、工事全般にわたり適切(数量も含む)に実施した。 (品質証明実施時)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
					施工時	施工時		
			○建設業退職金共 済制度等	06・ 掛金収納書の写しが契約締結後1か月以内に提出された。 (契約後・増額変更した場合)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
					契約後	変更後	変更後	
				07・ 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識が現場に掲示されている。 (施工時1回程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				施工時	施工時			
		08・ 労災保険関係の項目が現場の見やすい場所に掲示されてある。 (施工時1回程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
				施工時	施工時			
		09・ 建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理されている。 (施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
				施工時	施工時			
	○施工体制台帳	10・ 施工体制台帳および施工体系図を現場に備え付け、かつ、同一のものを提出した。 (施工時の当初、変更時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			当初	変更後	変更後			
		11・ 施工体制台帳に下請負契約書(写)(再下請負業者を含む)が添付されている。 (施工時の当初、変更時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			当初	変更後	変更後			
		12・ 施工体制台帳に、下請負金額並びに下請との権限及び意見の申出方法が記入されている。 (施工時の当初、変更時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			当初	変更後	変更後			

# 「施工プロセス」のチェックリスト

(2/5)

審査項目	種別	確認項目	チェックリスト一覧表	チェック欄			備考 (指示事項及びその是正状況など)
				着手前	施工中	完成時	
1 施工 体制	I 施工 体制 一般	○施工体系図	13・ 施工体系図が現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げられている。 (施工時の当初、変更時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			当初	変更後	変更後		
			14・ 施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工時 1回/月程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			施工時	施工時			
	15・ 施工体系図に記載されている主任技術者及び施工計画書に記載されている技術者が本人である。 (施工時の当初、変更時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	当初	変更後	変更後				
	16・ 元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。 (施工時の当初、変更時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	当初	変更後	変更後				
	○建設業許可標識	17・ 建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置され、(主任) 監理技術者が正しく記載されている。 (施工時 1回程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	施工時	施工時					
	II 配置 技術者 / 現場 代理人 ・ 監理 ・ 主任 技術者	○現場代理人	18・ 現場代理人は現場に常駐している。 (施工時 1回/月程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			施工時	施工時			
		19・ 現場代理人は、監督職員との連絡調整及び対応を書面で行っている。 (施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		施工時	施工時				
		○専門技術者の配置	20・ 専門技術者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		当初	施工時	施工時			
○作業主任者の選任		21・ 作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
当初		施工時	施工時				
○潜水作業従事者		22・ 潜水作業従事者を適正に配置している。(港湾工事) (施工計画時、施工時適宜)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
当初		施工時	施工時				
○海上起重作業船団長		23・ 海上起重作業船団長を適正に配置している。(港湾工事) (施工計画時、施工時適宜)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
当初		施工時	施工時				
○監理技術者(主任技術者)の専任制	24・ 資格者証の内容を確認した。 (下請総額4,000万円(建築一式6,000万円)以上は監理技術者 下請総額4,000万円未満は主任技術者) (着手前)	<input type="checkbox"/>					
	着手前						
	25・ 配置予定技術者、通知による監理技術者、施工体制台帳に記載された監理技術者と監理技術者証に記載された技術者および本人が同一であった。(監理技術者は下請負総額4,000万円(建築一式6,000万円)以上) (着手前)	<input type="checkbox"/>					
	着手前						
26・ 現場に常駐していた。(専任を要する場合) (施工時 1回/月程度)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
施工時	施工時						
27・ 施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係っていた。 (施工時、打ち合わせ時)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
施工時	施工時						
28・ 施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。 (施工時適宜)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
施工時	施工時						

# 「施工プロセス」のチェックリスト

(3/5)

審査項目	種別	確認項目	チェックリスト一覧表	チェック欄			備考 (指示事項及びその是正状況など)
				着手前	施工中	完成時	
1 施工体制	I 施工体制一般	○現場技術者	29・ 現場技術員との対応が適切である。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○下請者の把握	30・ 下請負者が県の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でない。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2 施工状況	I 施工管理	○設計図書の照査等	31・ 約款第18条第1項第1号から第5号に係る設計図書の照査を行っている。 <span style="float: right;">(着工前、施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○設計図書の照査等	32・ 現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 <span style="float: right;">(着工前、施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○施工計画書	33・ 施工（変更を含む）に先立ち、提出した。 <span style="float: right;">(着工前、変更時)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○施工計画書	34・ 記載内容（作業手順書等）と現場施工方法が一致している。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○施工計画書	35・ 記載内容（作業手順書等）と現場施工体制が一致している。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○施工計画書	36・ 記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○施工管理・工事材料管理	37・ 工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		・出来形、品質管理	38・ 品質管理確保のための対策など、施工に関する工夫を書面で確認できる。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		・出来形、品質管理	39・ 日常の出来形、品質管理が書面にて確認できる。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		・イメージアップ	40・ 特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組み、又、地域等により評価されるものがある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○検査（確認を含む）及び立会い等の調整	41・ 材料検査及び施工段階確認にあたって、あらかじめ検査願等を提出している。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○検査（確認を含む）及び立会い等の調整	42・ 材料検査、施工段階等の確認時期が適切である。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		○工事の着手	43・ 契約締結後の30日以内に、工事に着手した。 <span style="float: right;">(着手前)</span>	<input type="checkbox"/>			
		○支給材料及び貸与品	44・ 受領予定14日前までに、品名、数量、品質、規格又は性能を記した要求書を提出した。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

# 「施工プロセス」のチェックリスト

(4/5)

審査項目	種別	確認項目	チェックリスト一覧表			チェック欄			備考 (指示事項及びその是正状況など)	
			着手前	施工中	完成時	着手前	施工中	完成時		
2 施工状況	I 施工管理	○建設副産物及び建設廃棄物	45. 受注者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認し、監督職員に提示した。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
			46. 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		○指定建設機械の確認	47. 指定建設機械（排ガス対策型・低騒音型・低振動型建設機械）を使用している。 <span style="float: right;">(施工時 1回程度)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
			48. フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		II 工程管理	○工程管理	49. 現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出した。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
				50. 作業員の休日の確保を行った記録が整理されている。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	51. 災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。 (同一現場で複数の業者が作業する場合に設置される。) <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	III 安全対策		○安全活動	52. 店社パトロールを実施し、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時 1回/月程度)</span>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		53. 安全・訓練を実施し、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		54. 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		55. 新規入場者教育を実施し、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		56. 過積載防止に取り組んでいる記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		57. 使用機械、車両等の点検整備等が管理され、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時 1回/月程度)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		58. 重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置等がなされた点検記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		59. 山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理に記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		60. 足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

## 「施工プロセス」のチェックリスト

(5/5)

審査項目	種別	確認項目	チェックリスト一覧表	チェック欄			備考 (指示事項及びその是正状況など)
				着手前	施工中	完成時	
2 施工状況	Ⅲ 安全対策	○安全活動	61・ 保安施設等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
					施工時	施工時	
	○安全パトロールの指摘事項の処理	62・ 各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに改善を図り、かつ、関係者に是正報告をした記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				施工時	施工時		
	Ⅳ 対外関係	○関係機関等	63・ 関係官公庁等の関係機関と折衝及び調整をした記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
					施工時	施工時	
64・ 地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関しての苦情対応を適切に行い、記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				施工時	施工時		
		65・ 隣接工事又は施工上密接に関連する工事の受注者と相互に協力を行っている記録がある。 <span style="float: right;">(施工時適宜)</span>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				施工時	施工時		

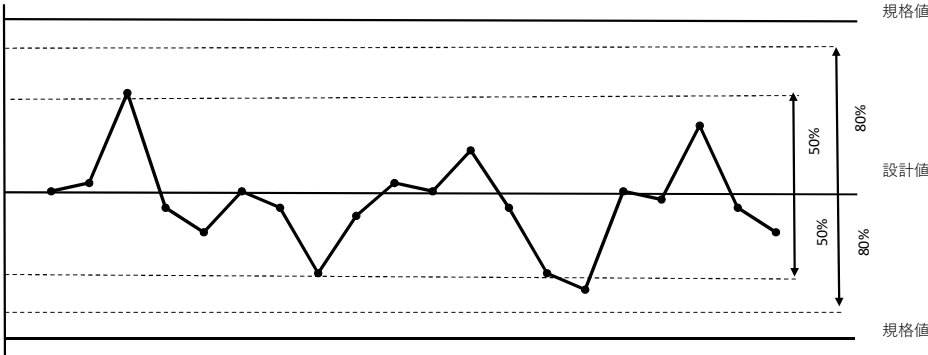
出来形のばらつきの考え方

※施工計画書に社内規格値、社内規格値内に収める方策、社内規格値を超えた場合の取り扱いについて記載する。

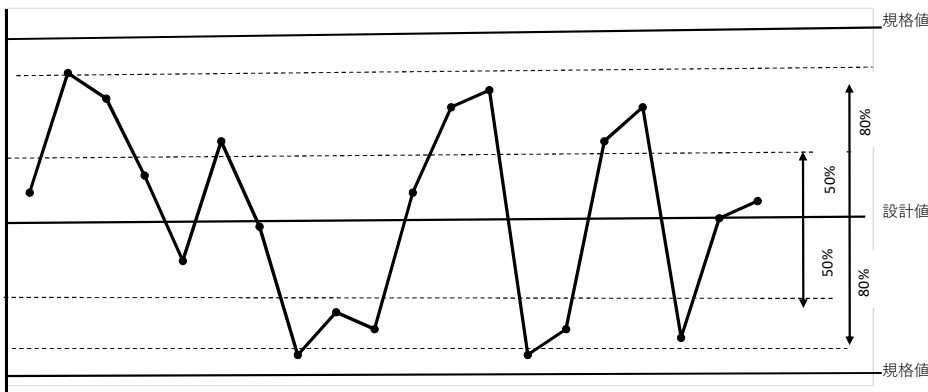
(1)管理図（工程能力図）の場合

[上・下限値がある場合]

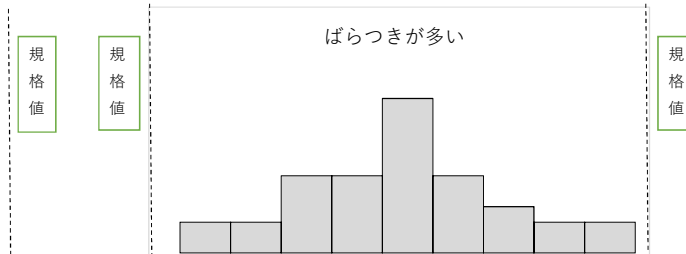
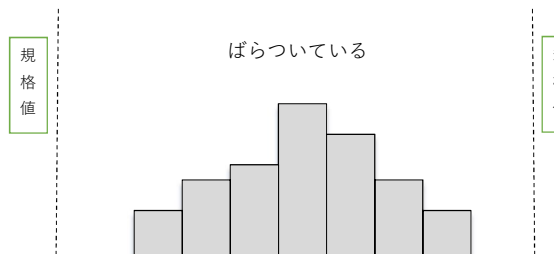
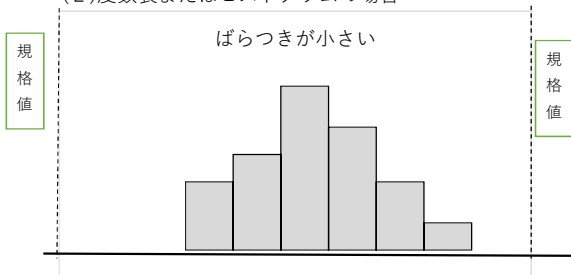
①ばらつきが概ね50%以下と判断できる例



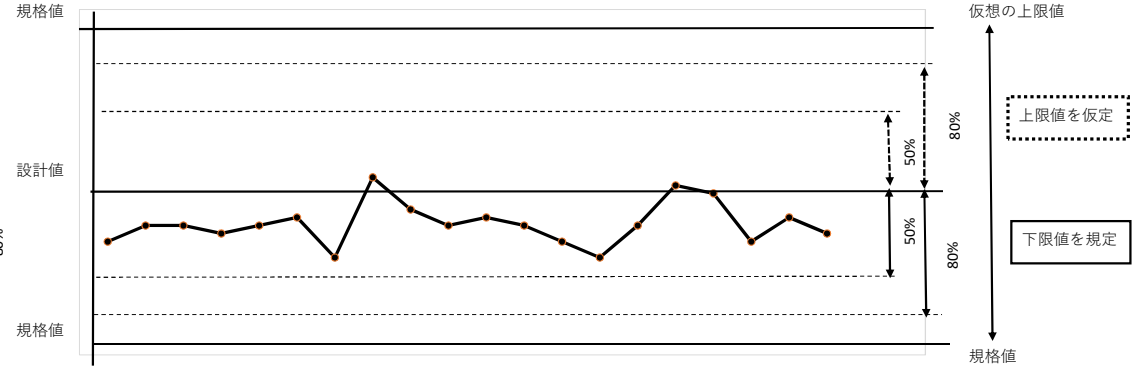
②ばらつきが概ね80%以下と判断できる例



(2)度数表またはヒストグラムの場合



[下限値のみの場合]

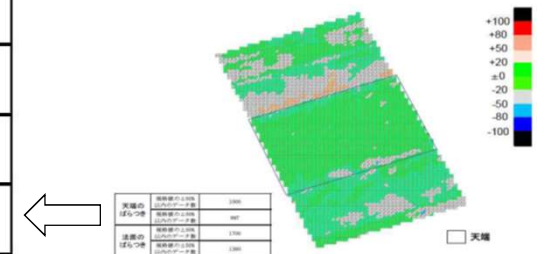


※下限値のみの場合は、下限値と同様の値を上限値に仮定すること。

③ICT活用工事の例

※出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断

天端のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1000
	規格値の±50%以内のデータ数	997
法面のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1700
	規格値の±50%以内のデータ数	1360



調査項目別運用表の「出来形」、「品質」、「出来ばえ」の適用工種一覧表

		工種	出来形	品質	出来ばえ
土木工事	一次評定	土木工事	土木工事(別紙1.7)	土木工事(別紙1.8)	—
		維持修繕工事	土木工事(別紙1.7)	維持修繕工事(別紙1.8.1)	—
		機械設備工事	機械設備工事(別紙1.7.1)	機械設備工事(別紙1.8.2)	—
		電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事	電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事(別紙1.7.2)	電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事(別紙1.8.3)	—
		建築工事(土木併注)	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙1.7.3)	建築工事(別紙1.8.4)	—
		電気設備工事(土木併注)	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙1.7.3)	電気設備工事(別紙1.8.5)	—
		機械設備工事(土木併注)	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙1.7.3)	機械設備工事(別紙1.8.6)	—
三次評定		道路改良・農道・林道・交通安全・路肩拡幅・歩道新設・災害防除工事	土木工事(別紙3.2)	道路改良、農道、林道、交通安全、路肩拡幅、歩道新設、災害防除工事(別紙3.3)	道路改良工事、農道、林道、交通安全、路肩拡幅、歩道新設、災害防除工事(別紙3.55)
		コンクリート構造物工事	土木工事(別紙3.2)	コンクリート構造物工事(別紙3.4)	コンクリート構造物工事、トンネル工事(別紙3.55)
		土工事(盛土・築堤工等)	土木工事(別紙3.2)	土工事(切土・盛土・築堤工等)(別紙3.5)	土工事(盛土・築堤工等)(別紙3.55)
		土工事(切土工)	土木工事(別紙3.2)	土工事(切土・盛土・築堤工等)(別紙3.5)	土工事(切土工)(別紙3.55)
		護岸、根固、水制工事	土木工事(別紙3.2)	護岸、根固、水制工事(別紙3.6)	護岸、根固、水制工事、海岸工事(別紙3.55)
		鋼橋工事	土木工事(別紙3.2)	鋼橋工事(別紙3.7)	鋼橋工事、雪寒鋼製構造物工事(別紙3.55)
		河川改良工事	土木工事(別紙3.2)	河川改良工事(別紙3.8)	河川改良工事(別紙3.56)
		地すべり工事(承水路・排水路工)	土木工事(別紙3.2)	地すべり工事(承水路・排水路工)(別紙3.9)	地すべり工事(承水路・排水路・集水井・アンカー工)、砂防治山工事(別紙3.56)
		地すべり工事(集水井工)	土木工事(別紙3.2)	地すべり工事(集水井工)(別紙3.10)	地すべり工事(承水路・排水路・集水井・アンカー工)、砂防治山工事(別紙3.56)
		地すべり工事(アンカー工)	土木工事(別紙3.2)	地すべり工事(アンカー工)(別紙3.11)	地すべり工事(承水路・排水路・集水井・アンカー工)、砂防治山工事(別紙3.56)
		地すべり工事(水抜きボーリング工)	土木工事(別紙3.2)	地すべり工事(水抜きボーリング工)(別紙3.12)	地すべり工事(水抜きボーリング・抑止杭工)(別紙3.56)
		地すべり工事(抑止杭工)	土木工事(別紙3.2)	地すべり工事(抑止杭工)(別紙3.13)	地すべり工事(水抜きボーリング・抑止杭工)(別紙3.56)
		砂防治山工事(堰堤、谷止工)	土木工事(別紙3.2)	砂防治山工事(堰堤・谷止工)(別紙3.14)	地すべり工事(承水路・排水路・集水井・アンカー工)、砂防治山工事(別紙3.56)
		舗装工事	土木工事(別紙3.2)	舗装工事(別紙3.15)	舗装工事(別紙3.56)
		海岸工事	土木工事(別紙3.2)	海岸工事(別紙3.16)	護岸、根固、水制工事、海岸工事(別紙3.55)
		法面工事	土木工事(別紙3.2)	法面工事(別紙3.17)	法面工事(別紙3.56)
		基礎工事および地盤改良工事	土木工事(別紙3.2)	基礎工事および地盤改良工事(別紙3.18)	基礎工事および地盤改良工事(別紙3.56)
		コンクリート橋上部工事	土木工事(別紙3.2)	コンクリート橋上部工事(別紙3.19)	コンクリート橋上部工事(別紙3.57)
		塗装工事	土木工事(別紙3.2)	塗装工事(別紙3.20)	塗装工事(別紙3.57)
		トンネル工事	土木工事(別紙3.2)	トンネル工事(別紙3.21)	コンクリート構造物工事、トンネル工事(別紙3.55)
		植栽工事	土木工事(別紙3.2)	植栽工事(別紙3.22)	植栽工事(別紙3.57)
		防護柵(網)工事	土木工事(別紙3.2)	防護柵(網)工事、標識工事、区画線等設置工事(別紙3.23)	防護柵(網)工事(別紙3.57)
		標識工事	土木工事(別紙3.2)	防護柵(網)工事、標識工事、区画線等設置工事(別紙3.23)	標識工事(別紙3.57)
		区画線等設置工事	土木工事(別紙3.2)	防護柵(網)工事、標識工事、区画線等設置工事(別紙3.23)	区画線等設置工事(別紙3.57)
		雪寒PC構造物等工事	土木工事(別紙3.2)	雪寒PC構造物等工事(別紙3.24)	雪寒PC構造物等工事(別紙3.57)
		雪寒鋼製構造物工事	土木工事(別紙3.2)	雪寒鋼製構造物工事(別紙3.25)	鋼橋工事、雪寒鋼製構造物工事(別紙3.55)
		雪寒消雪配管工事	土木工事(別紙3.2)	雪寒消雪配管工事(別紙3.26)	雪寒消雪配管工事(別紙3.58)
		雪寒さく井工事	土木工事(別紙3.2)	雪寒さく井工事(別紙3.27)	雪寒さく井工事(別紙3.58)
		港湾築造工事	土木工事(別紙3.2)	港湾築造工事(別紙3.28)	港湾築造工事(別紙3.58)
		下水道工事(開削・推進工)	土木工事(別紙3.2)	下水道工事(開削・推進・シールド工)(別紙3.29)	下水道工事(開削・推進工)(別紙3.58)
		下水道工事(シールド工)	土木工事(別紙3.2)	下水道工事(開削・推進・シールド工)(別紙3.29)	下水道工事(シールド工)(別紙3.58)
		浚渫工事	土木工事(別紙3.2)	浚渫工事(別紙3.30)	浚渫工事(別紙3.58)
		鋼構造物工事	土木工事(別紙3.2)	鋼構造物工事(別紙3.31)	鋼構造物工事(別紙3.59)
		矢板工事	土木工事(別紙3.2)	矢板工事(別紙3.32)	矢板工事(別紙3.59)
		補強土壁工事	土木工事(別紙3.2)	補強土壁工事(別紙3.33)	補強土壁工事(別紙3.59)
		電線共同溝工事	土木工事(別紙3.2)	電線共同溝工事(別紙3.34)	電線共同溝工事(別紙3.59)
		維持補修工事	土木工事(別紙3.2)	維持補修工事(別紙3.35)	維持補修工事(別紙3.59)
		維持修繕工事	土木工事(別紙3.2)	維持修繕工事(別紙3.36)	維持修繕工事(別紙3.59)
		工場製作の特殊製品等	土木工事(別紙3.2)	工場製作の特殊製品等(別紙3.37)	工場製作の特殊製品等(別紙3.59)
		ほ場整備工事	土木工事(別紙3.2)	ほ場整備工事(別紙3.38)	ほ場整備工事(別紙3.60)
		暗渠排水工事	土木工事(別紙3.2)	暗渠排水工事(別紙3.39)	暗渠排水工事(別紙3.60)
		ため池工事	土木工事(別紙3.2)	ため池工事(別紙3.40)	ため池工事(別紙3.60)

		工種	出来形	品質	出来ばえ
土木工事	三次評定	管水路工事	土木工事(別紙3. 2)	管水路工事(別紙3. 41)	管水路工事(別紙3. 60)
		コンクリート二次製品水路工事	土木工事(別紙3. 2)	コンクリート二次製品水路工事(別紙3. 42)	コンクリート二次製品水路工事(別紙3. 60)
		森林整備工事	土木工事(別紙3. 2)	森林整備工事(別紙3. 43)	森林整備工事(別紙3. 60)
		木製構造物工事	土木工事(別紙3. 2)	木製構造物工事(別紙3. 44)	木製構造物工事(別紙3. 61)
		治山山腹工事	土木工事(別紙3. 2)	治山山腹工事(別紙3. 45)	治山山腹工事(別紙3. 61)
		なだれ柵工事	土木工事(別紙3. 2)	なだれ柵工事(別紙3. 46)	なだれ柵工事(別紙3. 61)
		機械設備工事	機械設備工事(別紙3. 2. 1)	機械設備工事(別紙3. 47)	機械設備工事(別紙3. 61)
		電気設備工事	電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事(別紙3. 2. 2)	電気設備工事(別紙3. 48)	電気設備工事(別紙3. 61)
		通信設備工事、受変電設備工事	電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事(別紙3. 2. 2)	通信設備工事、受変電設備工事(別紙4. 49)	通信設備工事、受変電設備工事(別紙3. 61)
		建築工事(土木併注)	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(土木併注)(別紙3.2,3)	建築工事(土木併注)(別紙3. 50)	建築工事(土木併注)(別紙3. 62)
		電気設備工事(土木併注)	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(土木併注)(別紙3.2,3)	電気設備工事(土木併注)(別紙3. 51)	電気設備工事(土木併注)(別紙3. 62)
		機械設備工事(土木併注)	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(土木併注)(別紙3.2,3)	機械設備工事(土木併注)(別紙3. 52)	機械設備工事(土木併注)(別紙3. 62)
		上記以外の工事または合併工事(ばらつき不適切)	土木工事(別紙3. 2)	上記以外の工事または合併工事(ばらつき不適切)(別紙3. 53)	上記以外の工事または合併工事(別紙3. 62)
		上記以外の工事または合併工事(ばらつき適切)	土木工事(別紙3. 2)	上記以外の工事または合併工事(ばらつき適切)(別紙3. 54)	上記以外の工事または合併工事(別紙3. 62)
公共建築工事	一次評定	建築工事	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙4. 6)	建築工事(別紙4. 7)	—
		電気設備工事	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙4. 6)	電気設備工事(別紙4. 7. 1)	—
		機械設備工事	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙4. 6)	機械設備工事(別紙4. 7. 2)	—
	三次評定	建築工事	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙6. 2)	建築工事(別紙6. 3)	建築工事(別紙6. 6)
		電気設備工事	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙6. 2)	電気設備工事(別紙6. 4)	電気設備工事(別紙6. 7)
		機械設備工事	建築工事、電気設備工事、機械設備工事(別紙6. 2)	機械設備工事(別紙6. 5)	機械設備工事(別紙6. 8)